



# 市立大沼小学校 B 棟外壁修繕

意匠図（建築）		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A－0 0	表紙・図面リスト	N. S
共特－0 1	共通特記仕様書	N. S
改特－0 1	改修特記仕様書(1)	N. S
改特－0 2	改修特記仕様書(2)	N. S
改特－0 3	改修特記仕様書(3)	N. S
改特－0 4	改修特記仕様書(4)	N. S
A－0 1	案内図・配置図・外部仕上表	N. S 1:500
A－0 2	既存・改修 1 階平面図	1:200
A－0 3	既存・改修 2 階平面図	1:200
A－0 4	既存・改修 3 階平面図	1:200
A－0 5	既存・改修 屋上平面図	1:200
A－0 6	既存 立面図	1:200
A－0 7	改修 立面図	1:200
A－0 8	既存・改修 X4通り東側立面図 X8通り西側立面図	1:200
A－0 9	既存 矩計図	1:30
A－1 0	改修 矩計図	1:30
A－1 1	雑詳細図 1	1:20
A－1 2	雑詳細図 2	1:20
A－1 3	仮設計画図 1（参考図）	1:200
A－1 4	仮設計画図 2（参考図）	1:300

原 図 サイズ 〃 A1

<div>共通特記仕様書（建築工事）</div> <div>※工事を修繕と読み替えるものとする</div> <div><div>1. 工事概要</div><div>1. 工事名称 2. 工事場所 3. 建物概要</div><div>名称市立大沼小学校B棟外壁修繕 相模原市南区東大沼3－20－1 (1) 建物名称市立大沼小学校B棟 (2) 構造鉄筋コンクリート造 (3) 延床面積3,357㎡ (4) 敷地面積19,982㎡ (5) 用途地域第一種低層住居専用地域 (6) 防火指定準防火地域 (7) 埋蔵文化財包蔵地・該当遺跡No（）</div><div></div><div>4. 工事内容</div><div>外壁修繕 バルコニー修繕 樋修繕 アスベスト除去修繕</div><div></div><div>5. 指定部分</div><div>・有○無 対象部分（） 指定部分工期年 月 日</div><div>6. 施工条件</div><div>※施工日及び施工時間等は、現場説明書 3（2）施工項目による ・施工順序の制約の有無 制限内容 ※現場説明書 3（2）施工項目による ・概成工期 ※現場説明書 3（2）施工項目による</div></div>		<div>Ⅱ. 工事契約関係</div> <div><div>2-1 工事区分</div><div>工事目的物を分割して発注する場合の区分表は「工事区分表」による。</div></div> <div><div>2-2 用語の定義</div><div>「監督員」とは、相模原市請負工事監督規程による監督員をいい、統括監督員及び担当監督員をいう。 「契約条項」とは、相模原市工事請負契約書の契約条項をいう。</div></div> <div><div>2-3 工事実績情報 (CORINS)の登録</div><div>受注者は、契約金額500万（税込）以上の工事を締結した場合、（一財）日本建設情報総合センターへ工事実績情報の登録をしなければならない。 登録は、登録（受注登録・変更登録・竣工登録）が必要な時期に速やかに実施すること。</div></div> <div><div>2-4 施工体制台帳及び 施工体系図の作成</div><div>受注者は、下請契約を締結したときは、施工体制台帳を作成し現場に据え置かなければならない。 また、併せて施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げなければならない。</div></div> <div><div>2-5 質疑に対する協議</div><div>設計図書に疑義が生じた場合は、監督員と協議を行い承諾を得てから施工を行う。</div></div> <div><div>2-6 施工図等</div><div>1 受注者は施工に先立ち、工事に関連する部分の実測を行った上で設計図書との照合を行い、所定の寸法が確保できることを確認する。なお、寸法等の変更を要する箇所が生じた場合には監督員に報告するとともに、施工図、製作図等を作成し監督員の承諾を受けること。 2 製作、発注物品の同等確認等は製作・発注前に必ず監督員の承諾を受けること。 3 施工上の納まり、取合い等の関係で簡易な調整を行う場合は、監督員との協議による。</div></div> <div><div>2-7 工事の一時中止に係る事項</div><div>1 契約条項第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間における工事現場の管理に関する計画（「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾をうけること。 2 工事の施工を一時中止する場合には、工事の続行に備え工事現場を保全すること。</div></div> <div><div>2-8 実施工程表の提出</div><div>1 受注者は、工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。</div></div> <div><div>2-9 工事写真</div><div>1 工事（工程）写真 工事（工程）写真については、一連の流れがわかるようにすること。 2 完成写真（契約条項第32条に基づく工事完成届に添付） 工事着手前と完成後を同じアングルで撮影し、完成写真帳として見開きで比較できるよう整理する。</div></div> <div><div>2-10 発生材の処理等</div><div>発生材 受注者は、関係法令に従い、受注者の責任において処分を行うものとする。また、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）」において定める産業廃棄物管理表（紙マニフェスト）または電子マニフェストにより管理するものとする。産業廃棄物管理表（紙マニフェスト）で管理した場合は、A票及びE票が送付され次第、その原本を監督員に提示する。電子マニフェストで管理した場合は、運搬終了報告、処分終了報告、最終処分終了報告の通知が届き次第、その原本を監督員に提示する。</div></div> <div><div>2-11 環境への配慮</div><div>1 使用する材料及び施工方法については、室内環境に配慮した選定を行い、室内環境に影響を与える可能性のある材料等については、監督員の指示により、その物性等の確認できる資料を提出する。 2 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号。以下「グリーン購入法」という。）により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。 3 使用する材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 4 工事に使用する材料は、石綿を含有しないものとする。</div></div>		<div>2-12 材料の品質等</div> <div>1 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、設計図書に定めのない材料は、当該現場で使用するほかの材料と比べてバランスの取れた材料とすること。なお、材料は、製造工場により品質管理がなされたものとする。 2 設計図書において、指定された材料・製品等については、指定された材料・製品等を使用すること。ただし、種々の関係からやむを得ず同等以上の材料とする場合で、あらかじめ、材料の品質、性能等の証明となる資料等を示し、監督員の承諾を受けた場合は、この限りではない。</div> <div>2-13 材料検査</div> <div>受注者は、材料の現場搬入の際、当該材料が設計図書に定められた仕様と適合していることを確認する。このうち、次に指定する材料については監督員の材料検査を受けるものとする。また、指定する材料以外のもので監督員が必要と認めた場合は材料検査を受けること。</div> <table><tr><td>工種</td><td>指定する材料</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> <div>2-14 中間技術検査</div> <div>技術検査（中間技術検査）は、次の場合に実施する。 (1) 中間技術検査を実施する段階及び回数が下記に記載された場合</div> <table><tr><td>実施する段階</td><td>回数</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> <div>(2) 施工途中における品質確認のため、監督員が必要と認めた場合 (3) 施工途中における事故等により、監督員が必要と認めた場合 (4) 低入札工事の場合</div> <div>2-15 引渡し物品等</div> <div>受注者は、完成時に提出すること。なお、各物品の適用及び数量等は、以下による。</div> <table><tr><td>・引渡し図面</td><td>サイズ</td><td>原図</td><td>屏風製本</td></tr><tr><td>完成図</td><td>（ ）</td><td>部数（ ）部</td><td>部数（ ）部</td></tr><tr><td>完成図(縮小版)</td><td>（ ）</td><td>部数（ ）部</td><td>部数（ ）部</td></tr><tr><td>完成図の記入内容</td><td colspan="3">※(表1.7.1)【表1.8.1】による ・（ ）</td></tr><tr><td>その他</td><td colspan="3">・CAD、PDFデータの提出 ※CD等による</td></tr><tr><td colspan="2">・引渡し物品</td><td colspan="2">納品部数</td></tr><tr><td colspan="2">竣工写真</td><td colspan="2">・2-16による</td></tr><tr><td colspan="2">建築物等の維持管理に関する説明書</td><td colspan="2">・（ ）部</td></tr><tr><td colspan="2">機器取扱い説明書</td><td colspan="2">・（ ）部</td></tr><tr><td colspan="2">機器性能試験成績書</td><td colspan="2">・（ ）部</td></tr><tr><td colspan="2">各種保証書・検査書及び成績表</td><td colspan="2">・（ ）部</td></tr><tr><td colspan="2">工事関係者一覧表</td><td colspan="2">・（ ）部</td></tr><tr><td colspan="2">官庁関係届出書類</td><td colspan="2">・（ ）部</td></tr><tr><td colspan="2">備品等（ ）</td><td colspan="2">・（ ）部</td></tr></table> <div>2-16 竣工写真</div> <div>工事完成時に次の写真を撮影し、監督員に提出する。</div> <table><tr><td>撮影部位及び箇所数</td><td>形式・サイズ</td><td>提出数</td></tr><tr><td>・外観正面（ ）箇所</td><td>カラー印画紙キャビネ判</td><td>（ ）部</td></tr><tr><td>・外部（ ）箇所</td><td>カラー印画紙キャビネ判</td><td>（ ）部</td></tr><tr><td>・内部（ ）箇所</td><td>A 4 アルバム綴じ※</td><td>（ ）部</td></tr><tr><td>・内部（ ）箇所</td><td>電子データ (JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)</td><td>（ ）部</td></tr><tr><td>・外観正面（ ）箇所</td><td>カラー木製パネル 半切 (324×400mm)</td><td>（ ）部</td></tr></table> <div>4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの 建築完成写真撮影実績がある者で、監督員が承諾する撮影業者</div> <table><tr><td>・外部（ ）箇所</td><td>カラー印画紙キャビネ判</td><td>（ ）部</td></tr><tr><td>・内部（ ）箇所</td><td>A 4 アルバム綴じ※</td><td>（ ）部</td></tr><tr><td>・内部（ ）箇所</td><td>電子データ (JPEGフルカラー)</td><td>（ ）部</td></tr></table> <div>1280×960ピクセル以上で、かつデジタルカメラの最高設定の画質 写真撮影者は、任意 注：※のアルバムは併せて作成する。</div>		工種	指定する材料	備考							実施する段階	回数					・引渡し図面	サイズ	原図	屏風製本	完成図	（ ）	部数（ ）部	部数（ ）部	完成図(縮小版)	（ ）	部数（ ）部	部数（ ）部	完成図の記入内容	※(表1.7.1)【表1.8.1】による ・（ ）			その他	・CAD、PDFデータの提出 ※CD等による			・引渡し物品		納品部数		竣工写真		・2-16による		建築物等の維持管理に関する説明書		・（ ）部		機器取扱い説明書		・（ ）部		機器性能試験成績書		・（ ）部		各種保証書・検査書及び成績表		・（ ）部		工事関係者一覧表		・（ ）部		官庁関係届出書類		・（ ）部		備品等（ ）		・（ ）部		撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出数	・外観正面（ ）箇所	カラー印画紙キャビネ判	（ ）部	・外部（ ）箇所	カラー印画紙キャビネ判	（ ）部	・内部（ ）箇所	A 4 アルバム綴じ※	（ ）部	・内部（ ）箇所	電子データ (JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)	（ ）部	・外観正面（ ）箇所	カラー木製パネル 半切 (324×400mm)	（ ）部	・外部（ ）箇所	カラー印画紙キャビネ判	（ ）部	・内部（ ）箇所	A 4 アルバム綴じ※	（ ）部	・内部（ ）箇所	電子データ (JPEGフルカラー)	（ ）部	<div>2-17 足場</div> <div>足場を設ける場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドラインについて（厚生労働省 平成21年4月）」の「手すり先行工法に関するガイドライン」による足場（手すり先行専用足場又は枠組み足場又はくさび緊結式足場）とする。 足場の組立、解体、変更の作業は、手すり先行工法により行うとともに、使用時には、枠組み足場（妻面を除く）にあっては、交さ筋かい＋幅木等＋上さん等（各両側）、枠組み以外の足場（枠組み足場の妻面を含む）にあっては、手すり等＋中さん等＋幅木等（原則各両側＋妻側）の機能を有するものを設ける又はこれらと同等以上の措置を講じるものとする。 なお設置については、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における「手すり据置方式」又は「手すり先行専用足場方式」により行うこと。 上記により難い場合は、監督員との協議による。</div> <div>2-18 工事看板</div> <div>1 工事現場には、公衆が見やすい場所に次の事項を記載した工事看板を表示する。 (1) 工事名称 (2) 工事期間 (3) 受注者及び連絡先 (4) 現場代理人氏名及び連絡先 (5) 工事概要 (6) 発注者及び連絡先 (7) 工事監理者及び連絡先</div> <div>2-19 施工中の安全確保及び環境保全</div> <div>工事の施工中にあたっては、関係法令により、工事現場における標示施設等を設置すること。</div> <div>2-20 見本施工</div> <div>見本施工の実施は、次に指定した内容について実施する。</div> <table><tr><td>工種</td><td>指定する内容</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> <div>2-21 電気保安技術者</div> <div>電気保安技術者の配置については、現場説明書(3-(7))による。</div> <div>2-22 履行報告</div> <div>1 契約条項第11条に規定する履行報告書は、工事履行報告書とし、提出の要・不要は現場説明書(3-(8) 履行報告書)による。 2 記載内容は、次を標準とする。 (1) 工事総合進捗（工程表等） (2) 当月の実施作業内容 (3) 現場写真 ア 外観 ※定点から撮影し、月毎の工事進捗状況を把握できるものとする。 イ 内観</div> <div>2-23 契約不適合点検</div> <div>契約条項第45条に規定する契約不適合責任に伴う、契約不適合点検の要・不要については、現場説明書(3-(9) 契約不適合点検)による。工事目的物の引渡しの日から1年以内（原則として引渡し日から起算して11か月を経過以降、12か月を経過する以前の期間）に工事目的物の、契約不適合点検の実施及び立会いを行う。 受注者は、契約不適合点検において、契約不適合があると認められたときは、契約条項のとおり、履行の追完等に対応すること。</div> <div>2-24 設計変更</div> <div>設計図書の内容の一部を訂正・変更（以下「設計変更」という。）により契約変更が必要となった場合には、契約条項第24条又は第25条の規定により手続きを行うこと。</div> <div>2-25 提出物</div> <div>受注者は、以下に定める書類を作成し、監督員に提出すること。なお、以下に定める書類のほか、監督員が必要と認める場合はこの限りでない。</div> <table><tr><td>提出書類</td><td>備考</td></tr><tr><td>・塗装改修に係る使用材料計算書</td><td></td></tr><tr><td>・外壁改修に係る施工数量調査報告書</td><td></td></tr><tr><td>・外壁引張強度試験報告書</td><td></td></tr></table>		工種	指定する内容					提出書類	備考	・塗装改修に係る使用材料計算書		・外壁改修に係る施工数量調査報告書		・外壁引張強度試験報告書		<div>縮尺</div> <div>S=N. S</div> <div>設計年月日</div> <div>R8. 02</div> <div>図面名称</div> <div>共通特記仕様書</div> <div>図面番号</div> <div>共 特-01</div>	
		工種	指定する材料	備考																																																																																																																					
実施する段階	回数																																																																																																																								
・引渡し図面	サイズ	原図	屏風製本																																																																																																																						
完成図	（ ）	部数（ ）部	部数（ ）部																																																																																																																						
完成図(縮小版)	（ ）	部数（ ）部	部数（ ）部																																																																																																																						
完成図の記入内容	※(表1.7.1)【表1.8.1】による ・（ ）																																																																																																																								
その他	・CAD、PDFデータの提出 ※CD等による																																																																																																																								
・引渡し物品		納品部数																																																																																																																							
竣工写真		・2-16による																																																																																																																							
建築物等の維持管理に関する説明書		・（ ）部																																																																																																																							
機器取扱い説明書		・（ ）部																																																																																																																							
機器性能試験成績書		・（ ）部																																																																																																																							
各種保証書・検査書及び成績表		・（ ）部																																																																																																																							
工事関係者一覧表		・（ ）部																																																																																																																							
官庁関係届出書類		・（ ）部																																																																																																																							
備品等（ ）		・（ ）部																																																																																																																							
撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出数																																																																																																																							
・外観正面（ ）箇所	カラー印画紙キャビネ判	（ ）部																																																																																																																							
・外部（ ）箇所	カラー印画紙キャビネ判	（ ）部																																																																																																																							
・内部（ ）箇所	A 4 アルバム綴じ※	（ ）部																																																																																																																							
・内部（ ）箇所	電子データ (JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)	（ ）部																																																																																																																							
・外観正面（ ）箇所	カラー木製パネル 半切 (324×400mm)	（ ）部																																																																																																																							
・外部（ ）箇所	カラー印画紙キャビネ判	（ ）部																																																																																																																							
・内部（ ）箇所	A 4 アルバム綴じ※	（ ）部																																																																																																																							
・内部（ ）箇所	電子データ (JPEGフルカラー)	（ ）部																																																																																																																							
工種	指定する内容																																																																																																																								
提出書類	備考																																																																																																																								
・塗装改修に係る使用材料計算書																																																																																																																									
・外壁改修に係る施工数量調査報告書																																																																																																																									
・外壁引張強度試験報告書																																																																																																																									
<div></div> <div>SAGAMI HARA</div> <div>相模原市</div>	<div></div> <div>工事名称</div> <div>市立大沼小学校B棟外壁修繕</div>	<div>設計資格者氏名</div> <div>一級建築士 大臣登録 第288653号 学校施設課 大橋 乃介</div>	課 長	総括主幹	総括副主幹	総括副主幹	担 当	検 算																																																																																																																	

[illegible]





4-3

外壁改修工事

タイル張り仕上げ外壁

1

ひび割れ部改修工法  
(4.4.2)

外壁タイルの撤去面 ・ 外壁タイル張り全面  
○ 図示の範囲  
撤去範囲 ※ 下地モルタルまで ・ 張付けモルタルまで  
・ タイルのみ  
改修箇所 ※ 既存タイル張り面  
○ 既存タイル撤去面  
( ・ コンクリート面 ・ モルタル面)  
ひび割れ部の改修工法  
・ 樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300 ・ ( )	・ 130 ・ ( )
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・ 50～100 ・ ( )	・ 40 ・ ( )
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・ 100～200 ・ ( )	・ 70 ・ ( )
	0.5以上～1.0以下	・ 150～250 ・ ( )	・ 130 ・ ( )

注入量：多少樹脂が残った状態  
：隣のパイプから樹脂が出た状態  
ひび割れ部の注入状況の確認方法  
・ 行う (※コアの抜き取り ・ ( ) )  
・ 行わない  
(コアの抜き取りによる場合)  
抜き取り個数  
※長さ500mごと及びその端数につき1個 ・ ( )  
抜き取り部の補修方法 ※図示 ・ ( )

2

欠損部改修工法  
(4.4.5)

○タイル部分張替え工法  
接着剤の種類  
○ポリマーセメントモルタル  
・ JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系  
目地詰め ○行う  
・ 行わない (耐候性、耐汚染性は【4.4.5】による)

4.4.5

タイルの形状、寸法等 ( 二丁掛タイル )  
施工箇所 ( 図示 ) 形状、寸法 ( 227×60 )  
吸水率による区分 ・ 1類 ○2類 ・ 3類  
うわぐすり ・ 施ゆう ○無ゆう  
役物 ○有 ・ 無  
色 ○標準 ・ 特注  
再生材の適用 ・ 有 ○無  
耐凍害性 ・ 有 ○無  
耐滑り性 ・ 有 ○無  
シーリング材の種類  
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地  
※ポリウレタン系 ・ ( )  
伸縮調整目地その他の目地  
※変成シリコーン系 ・ ( )

4.1.4

・ タイル張替え工法  
接着剤の種類  
・ ポリマーセメントモルタル  
・ JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系  
目地詰め ・ 行う  
・ 行わない (耐候性、耐汚染性は【4.4.5】による)

4.4.8

・ セメントモルタルによるタイル張り  
コンクリート素地面の下地の処理方法 ( )  
タイル張りの種類及び工法  
・ 外装タイル  
( ・ 密着張り ・ 改良圧着張り )  
・ ユニットタイル  
( ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り )  
・ 有機系接着剤によるタイル張り  
コンクリート素地面の下地の処理方法 ( )  
タイル張りの種類及び工法  
・ 外装タイル ・ ユニットタイル  
( ※外装タイル接着剤張り工法 )  
目地詰め ・ 行う  
・ 行わない (【4.4.8】による)

2

工法

4.5.2

(表4.5.1)

新規仕上塗材の種類  
防火材料の指定 ・ 適用する (呼び名： ) ・ 適用しない  
○薄付け仕上塗材 施工箇所 ( 図示 )  
仕上塗材の呼び名  
・ 外装薄塗材 S i ・ 可とう形外装薄塗材 S i ○外装薄塗材 E  
・ 可とう形外装塗材 E ・ 防水形外装薄塗材 E ・ 外装薄塗材 S  
仕上げの形状及び工法  
○砂壁状 ・ ゆず肌状 (○吹付け ・ ローラー塗り)  
・ さざ波状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ( ・ 吹付け ・ こて塗り)

4.5.2

(表4.5.1)

・ 厚付け仕上塗材 施工箇所 ( )  
仕上塗材の呼び名  
・ 外装厚塗材 C ・ 外装厚塗材 S i ・ 外装厚塗材 E  
仕上げの形状  
・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状  
・ ひき起こし ・ 掻き落とし  
工法 (平たん状、凹凸状、ひき起こしの場合)  
・ こて塗り ・ ローラー塗り  
・ 外装厚塗材 C にセメントスタッコ以外の上塗材を用いる場合  
上塗材の種類  
耐候性 ( )  
溶媒 ※水系 ・ 弱溶剤系 ・ 溶剤系  
樹脂 ※アクリル系 ・ シリカ系 ・ ポリウレタン系  
・ アクリルシリコン系 ・ ふっ素系  
外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック

4.5.2

(表4.5.1)

○複層仕上塗材 施工箇所 ( 図示 )  
仕上塗材の呼び名  
・ 複層塗材 C E ・ 複層塗材 S i ・ 複層塗材 E  
・ 複層塗材 R E ・ 可とう形複層塗材 C E  
・ 防水形複層塗材 C E ○防水形複層塗材 E  
・ 防水形複層塗材 R E  
仕上げの形状 ・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ○凹凸状  
上塗材の種類  
耐候性 ( )  
溶媒 ※水系 ・ 弱溶剤系 ・ 溶剤系  
樹脂 ※アクリル系 ・ シリカ系 ・ ポリウレタン系  
○アクリルシリコン系 ・ ふっ素系  
外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック

4.5.2

(表4.5.1)

・ 可とう形改修用仕上塗材 施工箇所 ( )  
仕上塗材の呼び名  
・ 可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 R E  
・ 可とう形改修塗材 C E  
仕上げの形状  
・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状

4.5.2

(表4.5.1)

・ 可とう形改修用仕上塗材 施工箇所 ( )  
仕上塗材の呼び名  
・ 可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 R E  
・ 可とう形改修塗材 C E  
仕上げの形状  
・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状

4.5.2

(表4.5.1)

・ マスチック塗材塗り仕上げ  
施工箇所 ( )  
工程の種別 ・ A種 ・ B種  
・ 外壁用塗膜防水材仕上げ 施工箇所 ( )  
外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.6.2

(表4.6.1)

・ マスチック塗材塗り仕上げ  
施工箇所 ( )  
工程の種別 ・ A種 ・ B種  
・ 外壁用塗膜防水材仕上げ 施工箇所 ( )  
外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )  
下地挙動緩衝材の適用 ・ 有 ・ 無

4.7.2

(表4.7.1)

・ 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法  
・ 吹付け工法 ( ・ 凹凸状 ・ 凸部処理 )  
・ ローラー工法 ( ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 )  
外壁用塗膜防水材の仕上塗料の種類と所要量  
種類 ・ ウレタンゴム系 ・ アクリルゴム系 ・ ( )  
耐候性 ( )



[illegible]



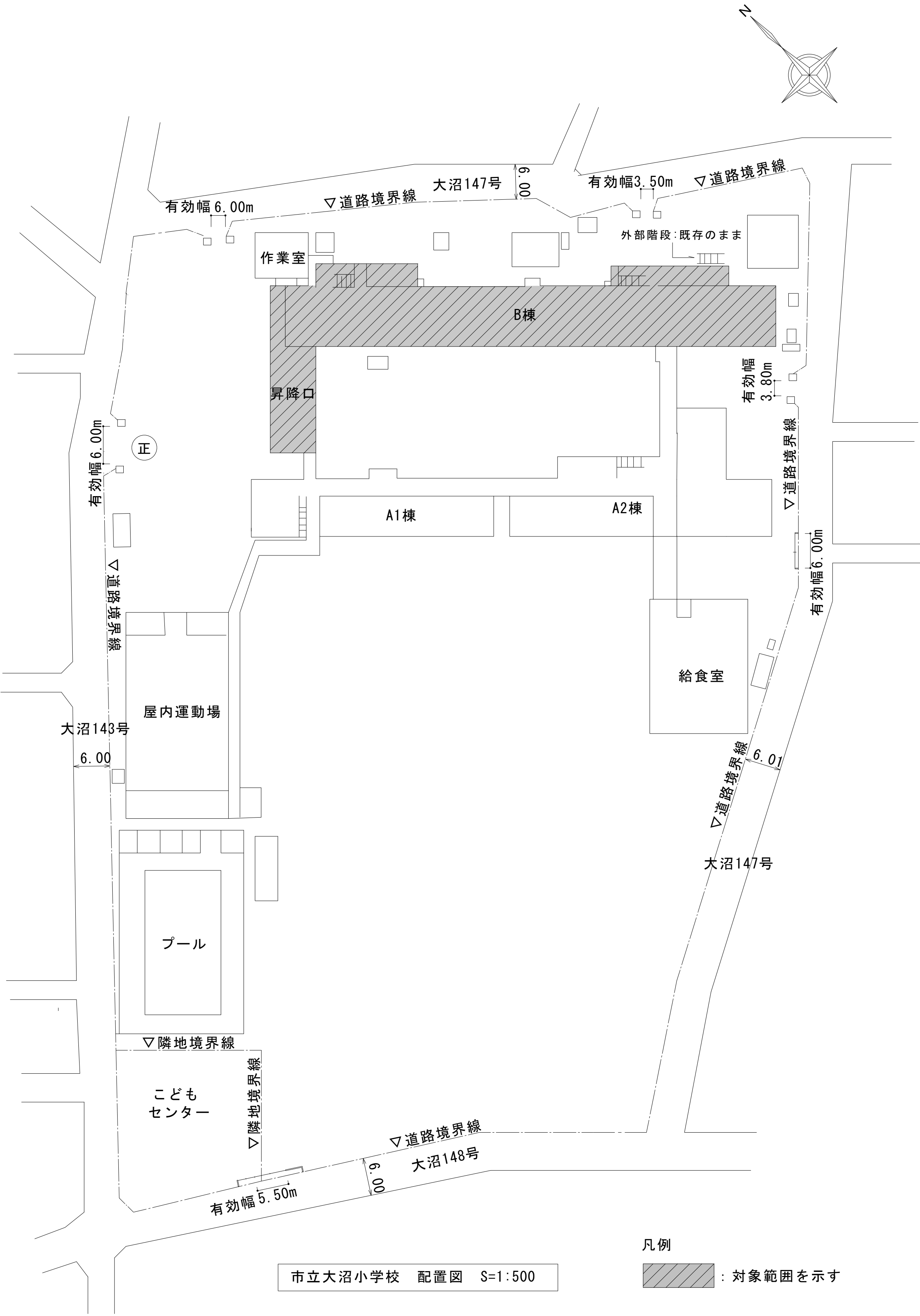
外部仕上表

外 壁	改修前	モルタル下地合成樹脂E系複層塗材ウレタン系【既存のまま】
	改修後	水洗い（15MPa）の上、防水形複層塗材E（下地調整材C-2）凹凸状 【新設】
軒 裏	改修前	モルタル下地合成樹脂E系複層塗材ウレタン系【既存のまま】
	改修後	水洗い（15MPa）の上、外装薄塗材E（下地調整材C-1） 【新設】
竖 樋	改修前	硬質塩化ビニルパイプ φ75,100 VP（支持金物共）【撤去】
	改修後	硬質塩化ビニルパイプ φ75,100 SUS支持金物φ1200、落下防止バンド共【新設】



【市立大沼小学校】  
相模原市南区東大沼3-20-1

市立大沼小学校 案内図 S=N.S

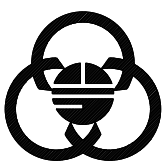


市立大沼小学校 配置図 S=1:500

凡例

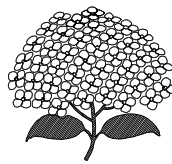
：対象範囲を示す

原図サイズ A1



SAGAMIHARA

相模原市



工事名称

市立大沼小学校B棟外壁修繕

設計資格者氏名

一級建築士 大臣登録 第288653号  
学校施設課 大橋 乃介

課 長

総括主幹

総括副主幹

総括副主幹

担 当

検 算

縮尺

S=N.S  
S=1:500

設計年月日

R8.02

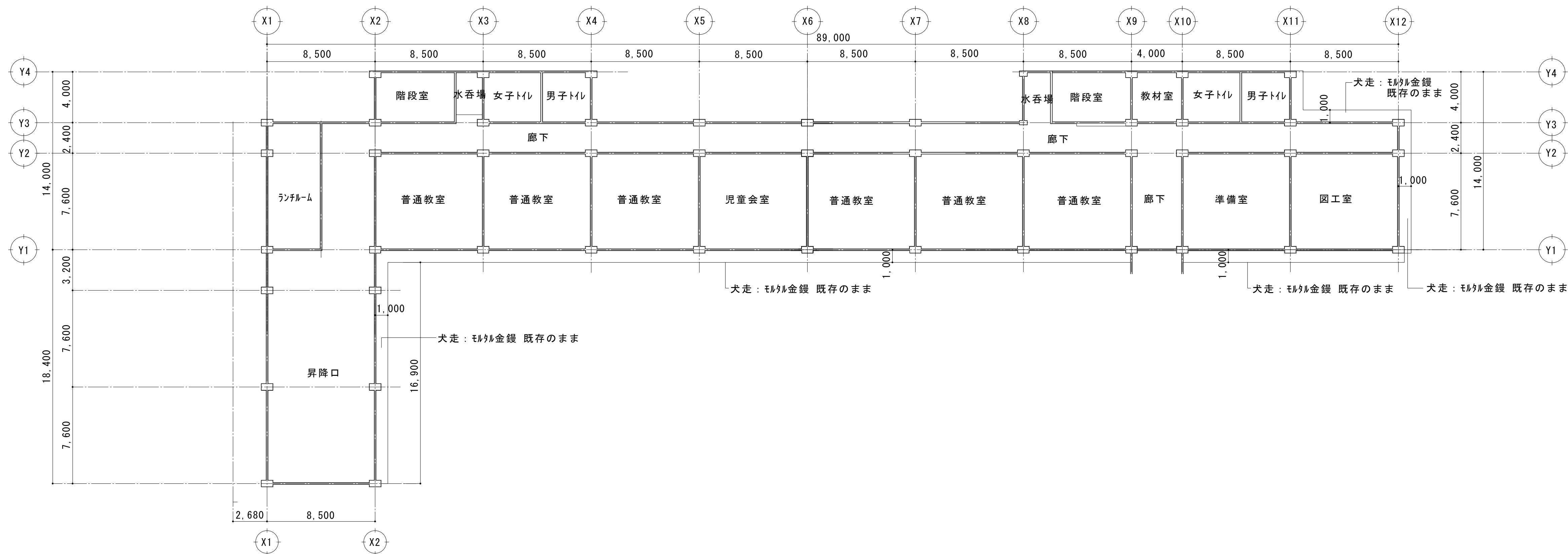
図面名称

案内図・配置図・外部仕上表

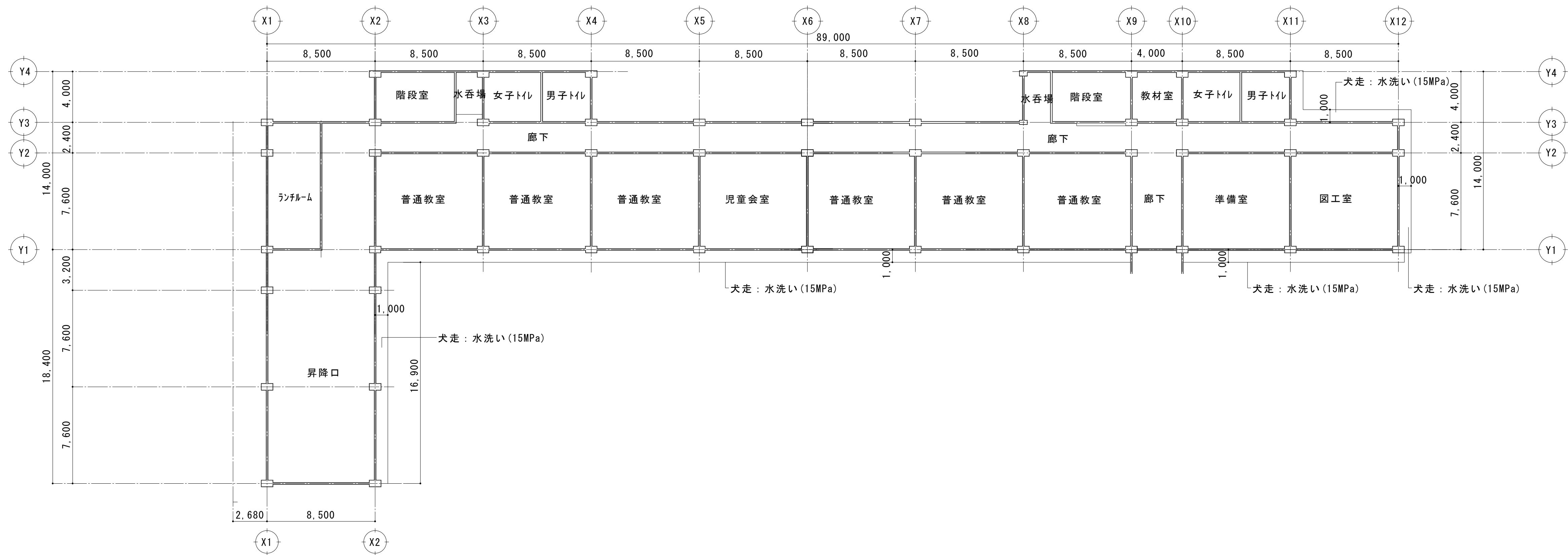
図面番号

A-01




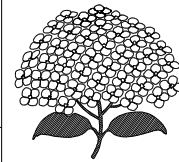


既存 1階平面図 S=1:200

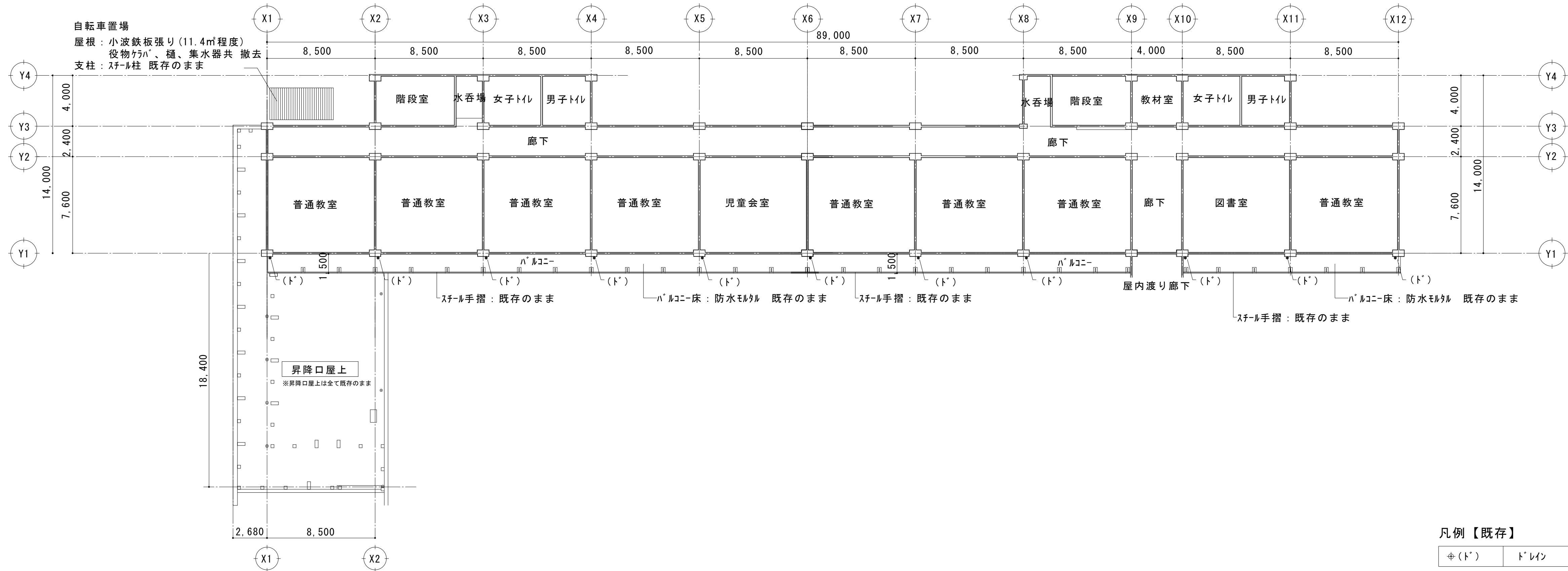


改修 1階平面図 S=1:200

原図サイズ A1

 <div>SAGAMIHARA 相模原市</div>		工事名称 市立大沼小学校B棟外壁修繕	設計資格者氏名 一級建築士 大臣登録 第288653号 学校施設課 大橋 乃介	課 長	総括主幹	総括副主幹	総括副主幹	担 当	検 算	縮尺 S=1:200	図面名称 既存・改修 1階平面図	図面番号 A-02
										設計年月日 R8. 02		

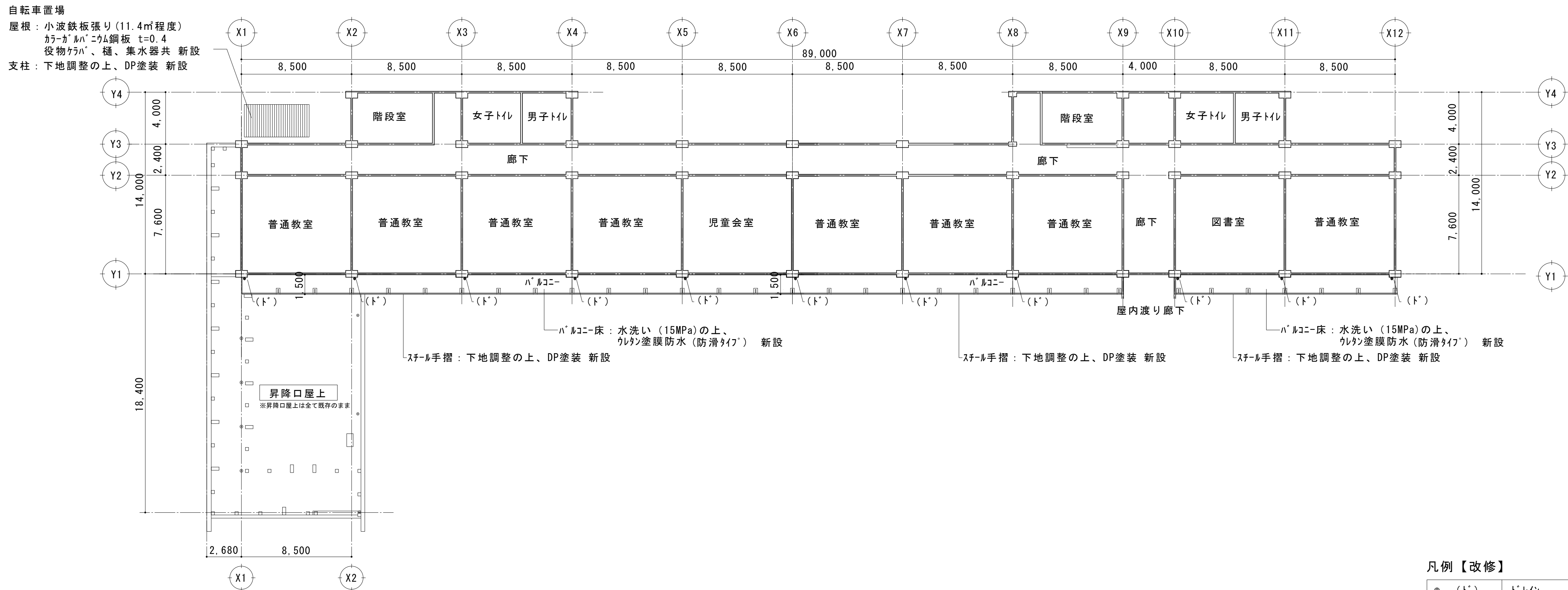




既存 2階平面図 S=1:200

凡例【既存】

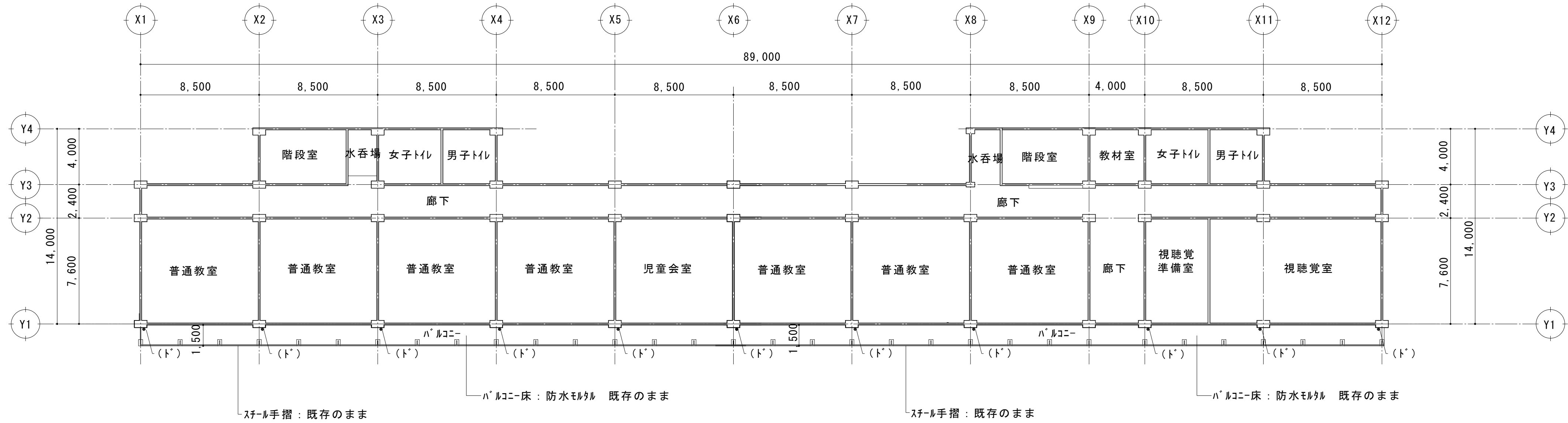
Φ (ト)	ドレイン	既存： 鋳鉄製 既存のまま
-------	------	---------------



改修 2階平面図 S=1:200

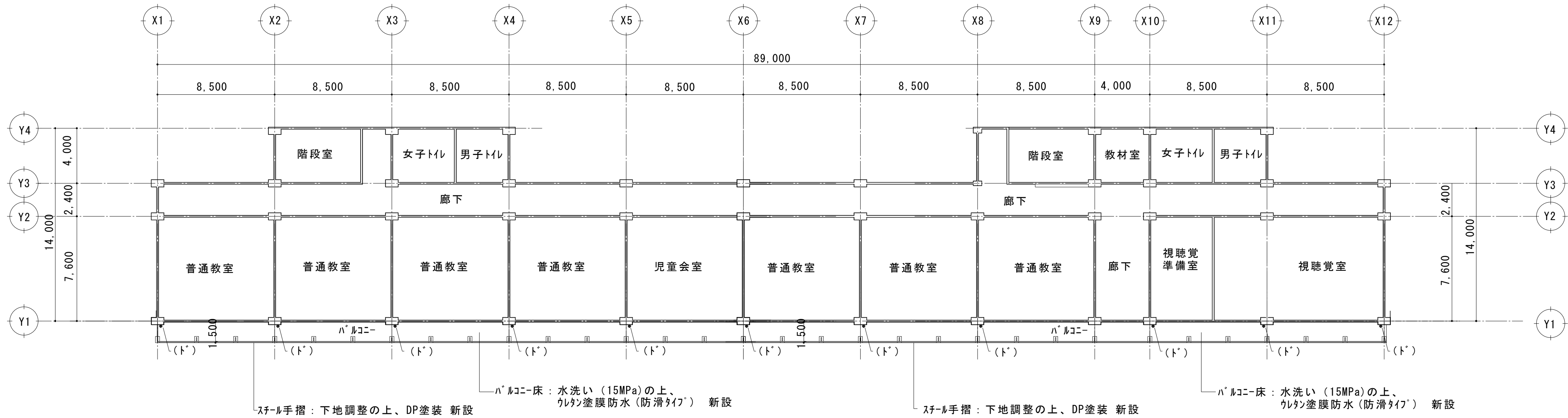
凡例【改修】

Φ (ト)	ドレイン	改修：下地調整の上、DP塗装 新設
-------	------	-------------------



凡例【既存】		
⊕ (ト')	トイレ	既存： 鋳鉄製 既存のまま

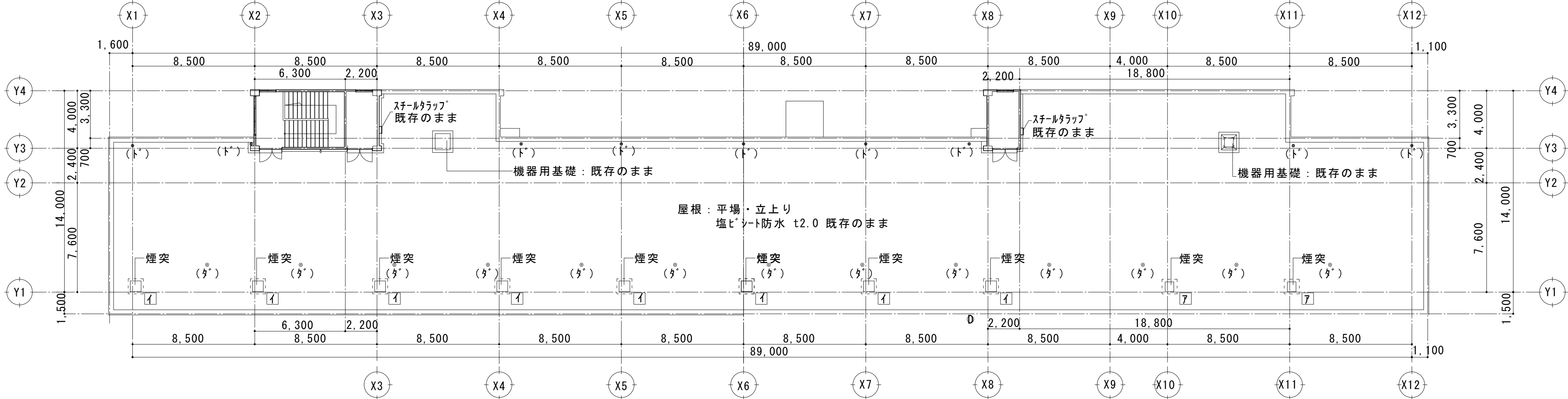
既存 3 階平面図 S=1:200



凡例【改修】		
⊕ (ト')	トイレ	改修： 下地調整の上、DP塗装 新設

改修 3 階平面図 S=1:200



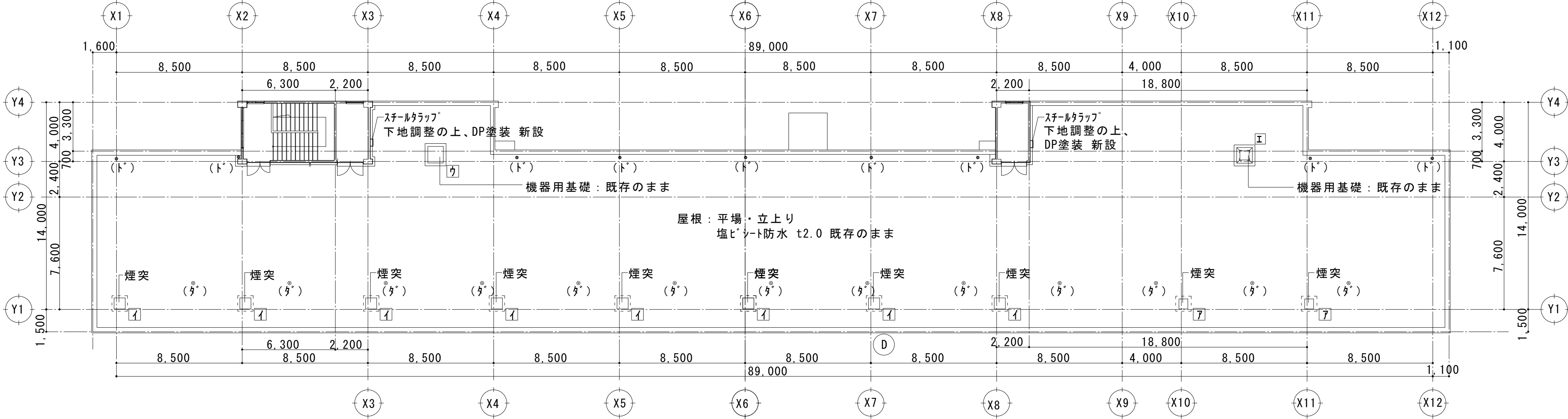


既存 屋上平面図 S=1：200

凡 例

	脱気筒	既存のまま
	ルーフドレイン	既存のまま

煙 突  
7 ～ 1 : 雑詳細図 (A-11) 参照

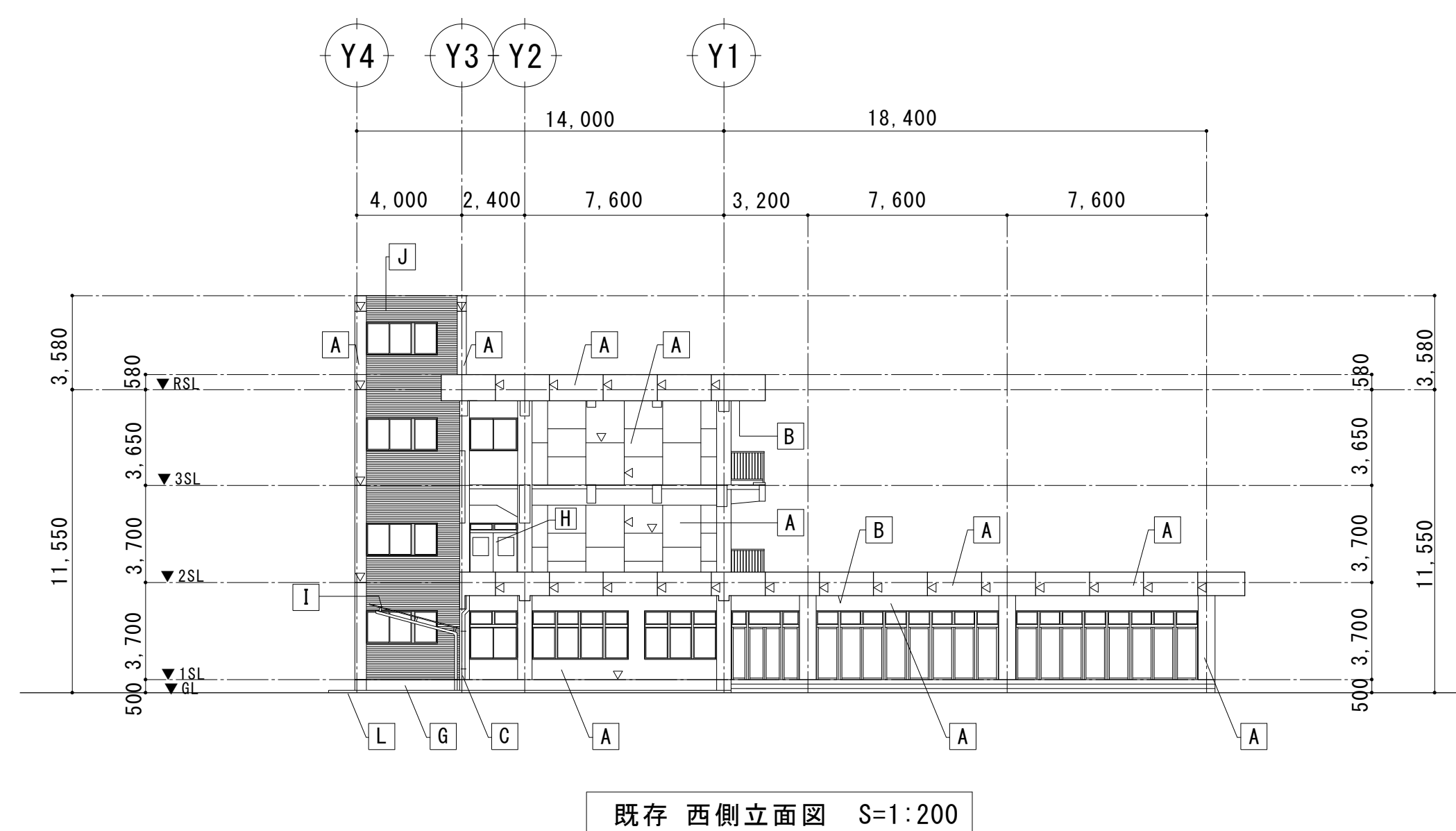
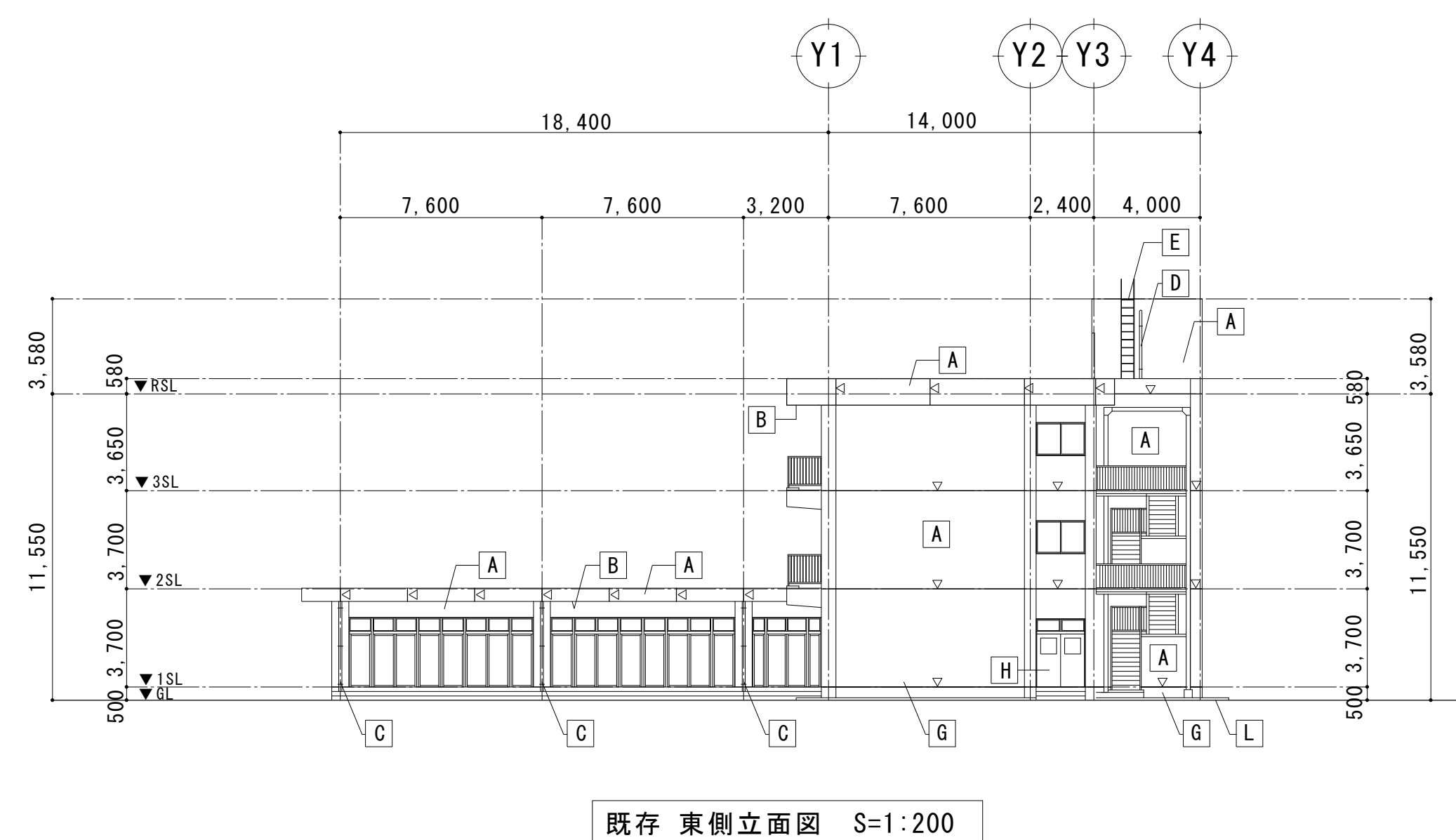
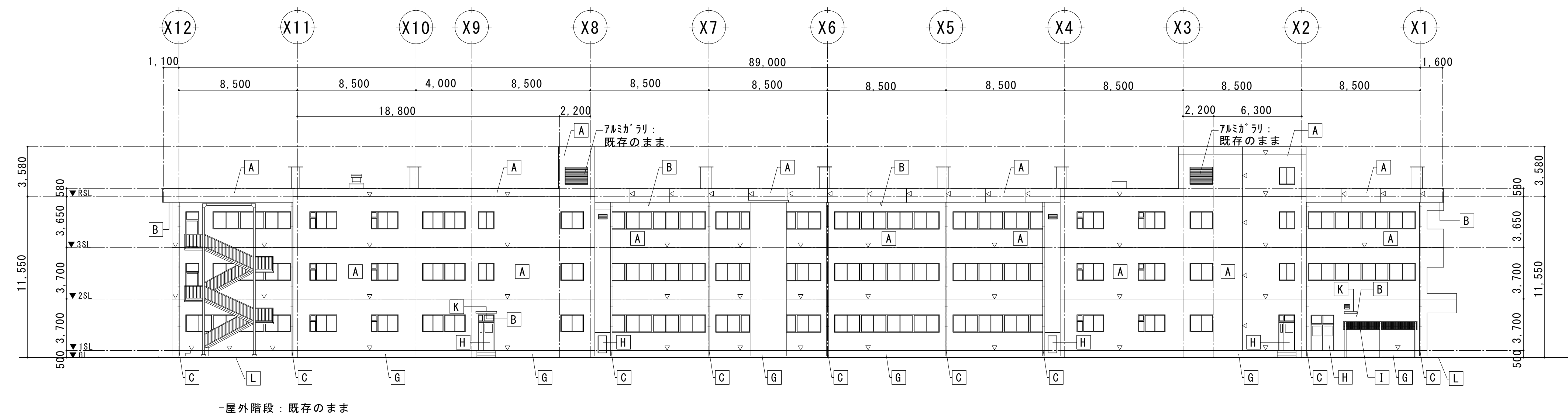
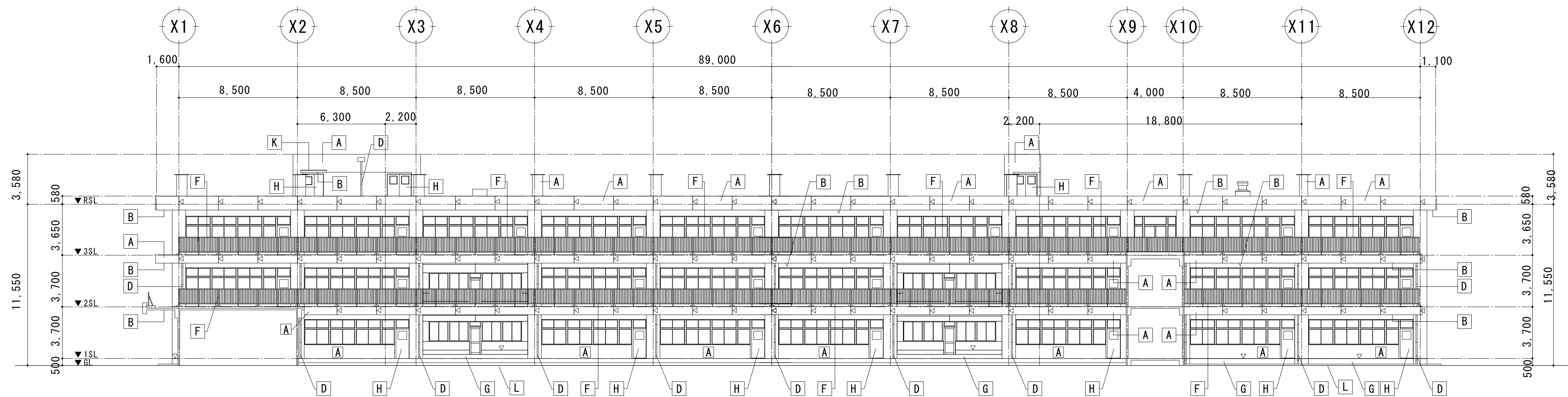


改修 屋上平面図 S=1：200



凡 例

	脱気筒	既存のまま
	ルーフドレイン	既存のまま

煙 突  
7 ～ 1 : 雑詳細図 (A-11) 参照



凡例【既存】		
A	外壁：モルタル下地合成樹脂E系複層塗材ウレタンエマル（下地調整材：アスベスト含有レベコ）	既存のまま
B	軒裏：モルタル下地合成樹脂E系複層塗材ウレタンエマル（下地調整材：アスベスト含有レベコ）	既存のまま
C	堅樫：VP φ100（飾樹無）	撤去
D	堅樫：VP φ75（飾樹無）	撤去
E	スチールタラップ：鉄部 0P塗	既存のまま
F	ハルコニー・スチール手摺：鉄部 0P（支柱：64本、手摺子：676本、控柱58本）	既存のまま
G	巾木：モルタル金ゴテ H=400	既存のまま
H	SD扉（2550×1100）：鉄部 0P塗（62㎡程度）	既存のまま
I	自転車置場	撤去
	屋根：小波鉄板張り（11.4㎡程度） 役物ケラハ、樋、集水器共	
	支柱：スチール柱（φ80程度）	
J	タイル張り：二丁掛タイル（277×60）	既存のまま
K	庇上端：モルタル下地合成樹脂E系複層塗材ウレタンエマル	既存のまま
L	犬走：モルタル金鍍	既存のまま

	打繼目地：20×10	撤去
	縦目地：20×10	撤去

\* サッシ周りシーリング：撤去（1,667m程度）  
\* ガラリ周りシーリング：撤去（11.2m程度）

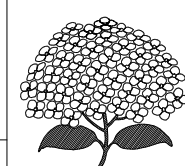
\* がり周りシーリング：撤去（11.2m程度）

原図サイズ A1



*SAGAMIHARA*

相模原市



工事名称

市立大沼小学校B棟外壁修繕

設計資格者氏名

一級建築士 大臣登録 第288653号  
学校施設課 大橋 乃介

課 長	
-----	--

総括主幹	
------	--

総括副主席	田中 孝
-------	------

総括副主席

担当

検 算

縮尺
----

S=1 : 200

設計年月日
-------

R8.02

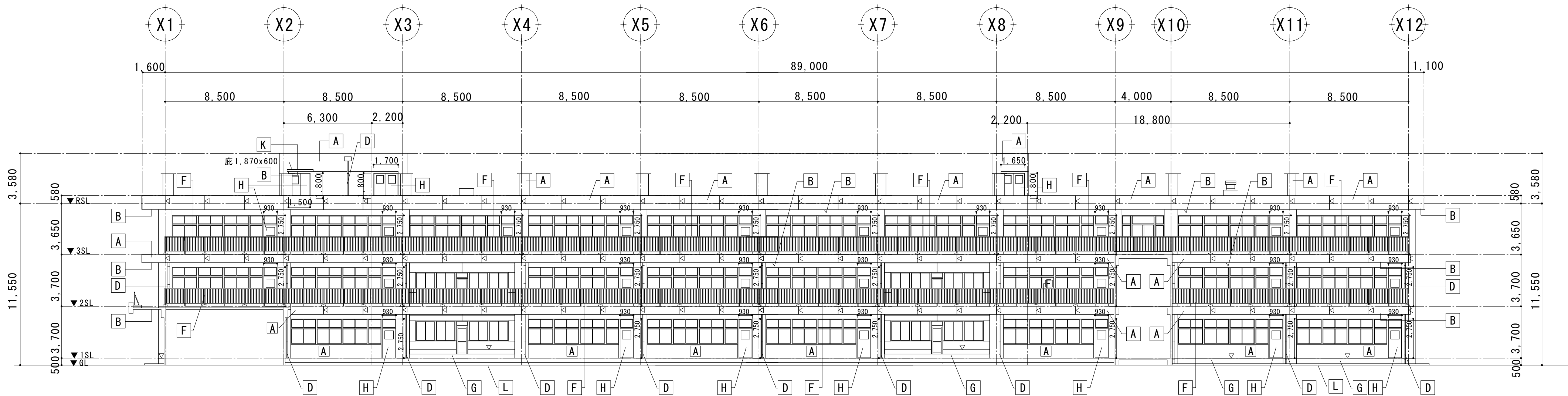
図面名称	
------	--

既存 立面图

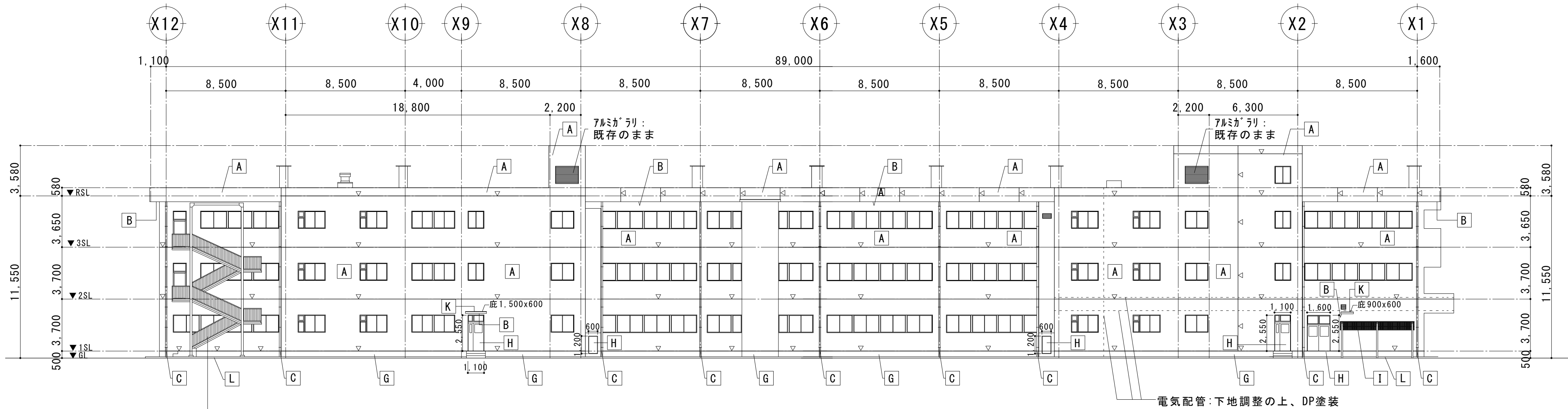
図面番号

A-06

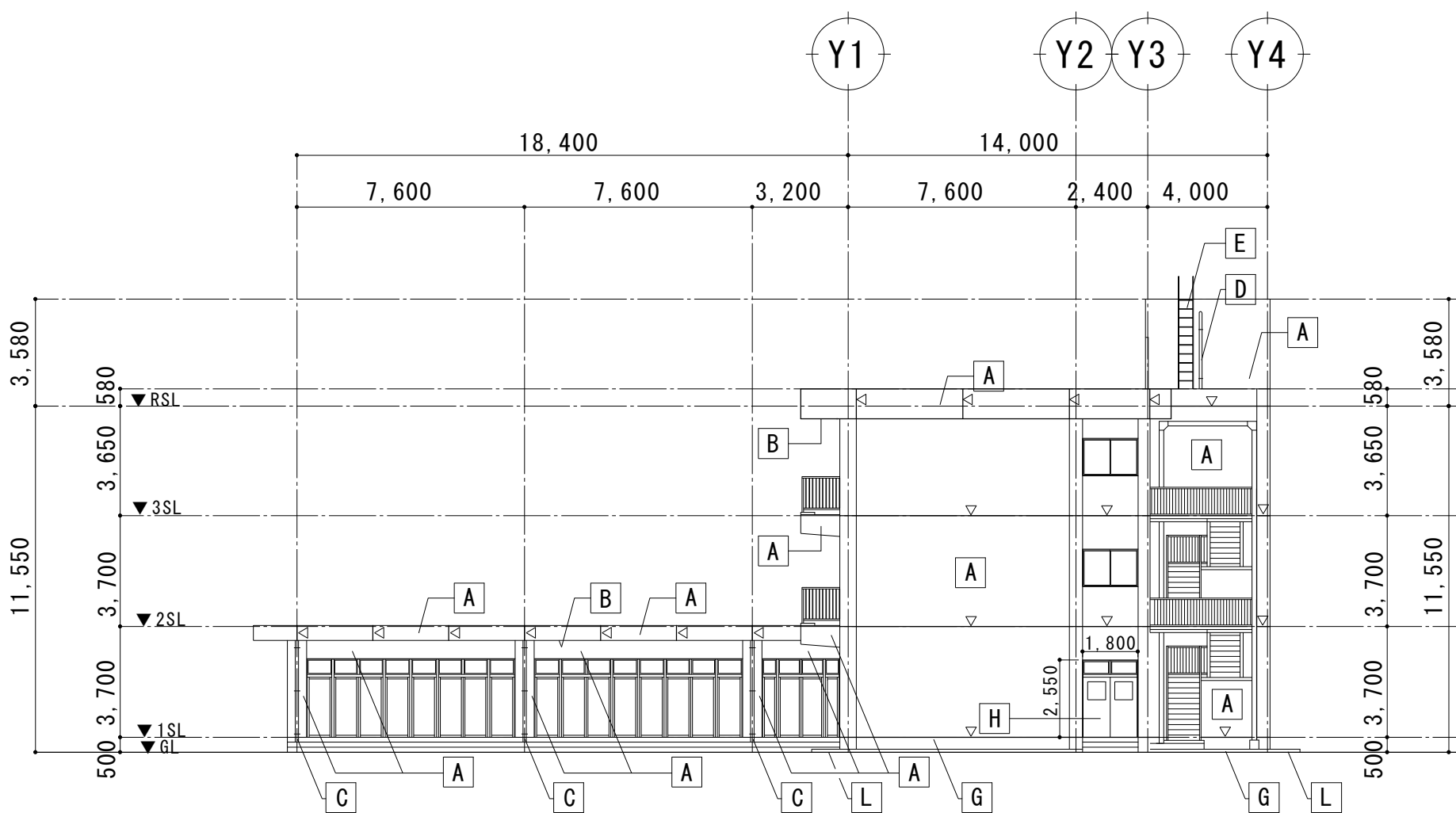




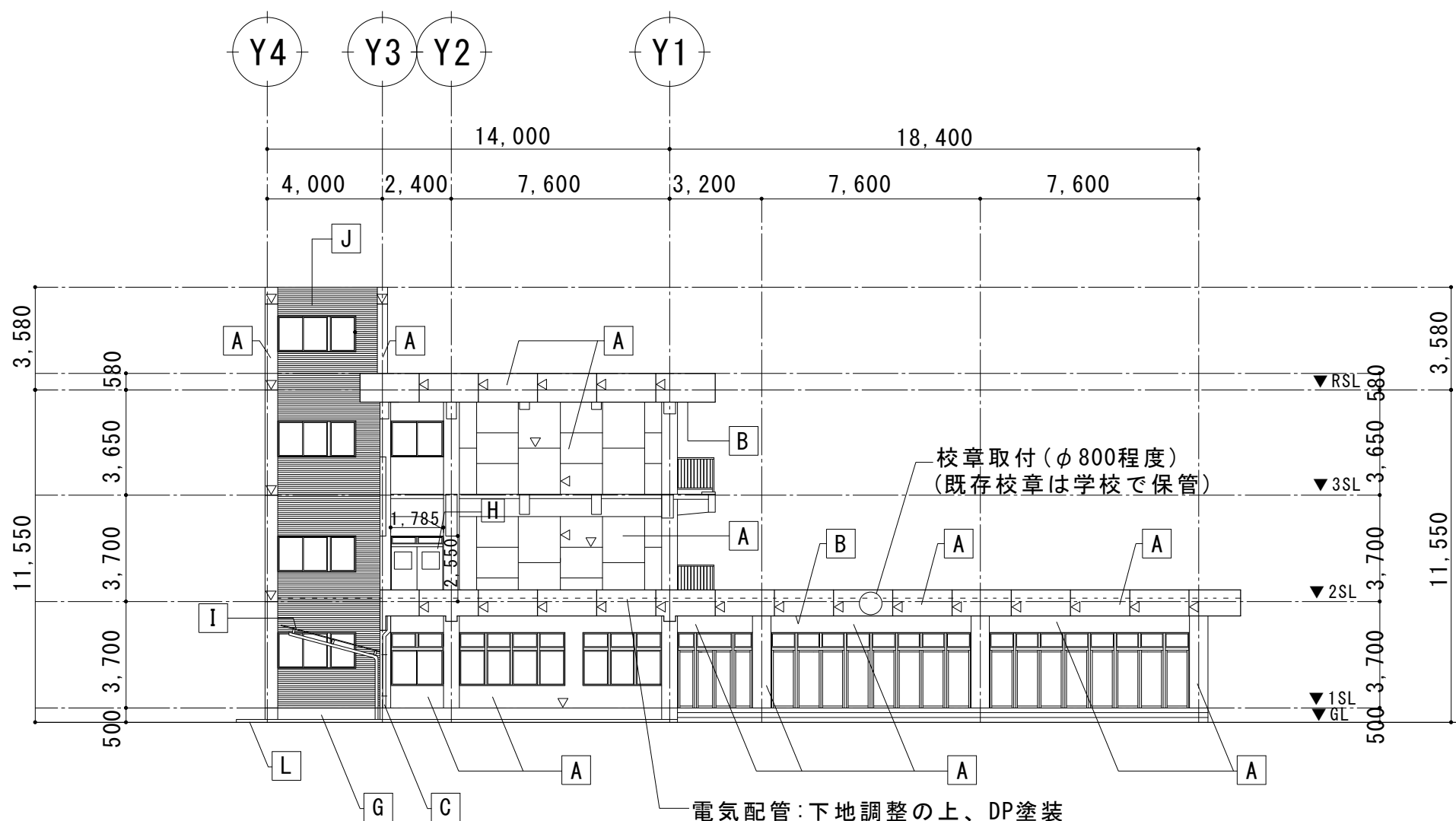
改修 南側立面図 S=1:200



改修 北側立面図 S=1:200



改修 東側立面図 S=1:200



改修 西側立面図 S=1:200

■外壁改修工事 参考数量表 (改修範囲全て) ※数量及び工法は参考とする。

改修内容	想定数量	摘 要
外壁亀裂補修 (クラック補修)	141 m	W=0.2mm以上 Uカットウレタシーリング 充填工法樹脂モルタル仕上げ
モルタル浮き補修	594 穴	アノカービニリング 部分E 樹脂 注入工法 ビンφ5 L=50
爆裂欠損補修 50×50×30程度	170 箇所	鉄筋コンクリート防錆材塗り E 樹脂モルタル充填
爆裂欠損補修 100×100×30程度	85 箇所	
爆裂欠損補修 200×200×30程度	28 箇所	
爆裂欠損補修 100×500×30程度	57 箇所	
欠損補修 50×50×30程度	113 箇所	E 樹脂モルタル充填
欠損補修 100×100×30程度	57 箇所	
欠損補修 200×200×30程度	28 箇所	
欠損補修 100×500×30程度	28 箇所	
塗膜剥離補修 (下地調整材にアノカービニリング含有)	57 m <sup>2</sup>	手工具ケレン工法
タイル浮き補修	1 穴	アノカービニリング 部分E 樹脂 注入工法 ビンφ5 L=60
タイルひび割れ部張替え	1 m <sup>2</sup>	カッター入れ、下地モルタル共、近似タイル使用
タイル欠損部張替え	1 m <sup>2</sup>	カッター入れ、下地モルタル共、近似タイル使用

- ・外部足場設置後、水洗い及び外壁数量調査を行い、報告書を提出すること。  
また、補修が必要な部分には、マーキングを行うこと。
- ・監督員と協議を行い、補修箇所、数量及び工法を決定すること。

凡例【改修】

A	外壁：水洗い(15MPa)の上、防水形複層塗材E(下地調整材C-2)	新設
B	軒裏：水洗い(15MPa)の上、外装薄塗材E(下地調整材C-1)	新設
C	壁樋：VPφ100(SUS支持金物@1200、落下防止バンド共)	新設
D	壁樋：VPφ75(SUS支持金物@1200、落下防止バンド共)	新設
E	スチールラック：下地調整の上、DP塗装	新設
F	バルコニースチール手摺：下地調整の上、DP塗装 (支柱：64本、手摺子：676本、控柱58本)	新設
G	巾木：水洗い(15MPa)の上、フィラー補修(C-2) H=400	新設
H	SD扉：下地調整の上、DP塗装(扉外部面のみ) (62m <sup>2</sup> 程度)	新設
I	自転車置場 屋根：小波鉄板張り(11.4m <sup>2</sup> 程度) カーガレージ鋼板 t=0.4 役物ケラ、樋、集水器共 支柱：下地調整の上、DP塗装	新設
J	タイル張り：水洗い(15MPa)の上、タイル補修	新設
K	底上端：水洗い(15MPa)の上、ウレタン塗膜防水	新設
L	犬走：水洗い(15MPa) (115m <sup>2</sup> 程度)	新設

凡例【改修】

▽	打継目地：20×10 PU-2	新設
◁	縦目地：20×10 PU-2	新設

\*サッシ周りシーリング MS-2：新設(1,667m程度)

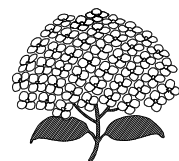
\*ガラリ周りシーリング MS-2：新設(11.2m程度)

原図サイズ A1



SAGAMIHARA

相模原市



工事名称

市立大沼小学校B棟外壁修繕

設計資格者氏名

一級建築士 大臣登録 第288653号  
学校施設課 大橋 乃介

課長

総括主幹

総括副主幹

総括副主幹

担当

検算

縮尺

S=1:200

設計年月日

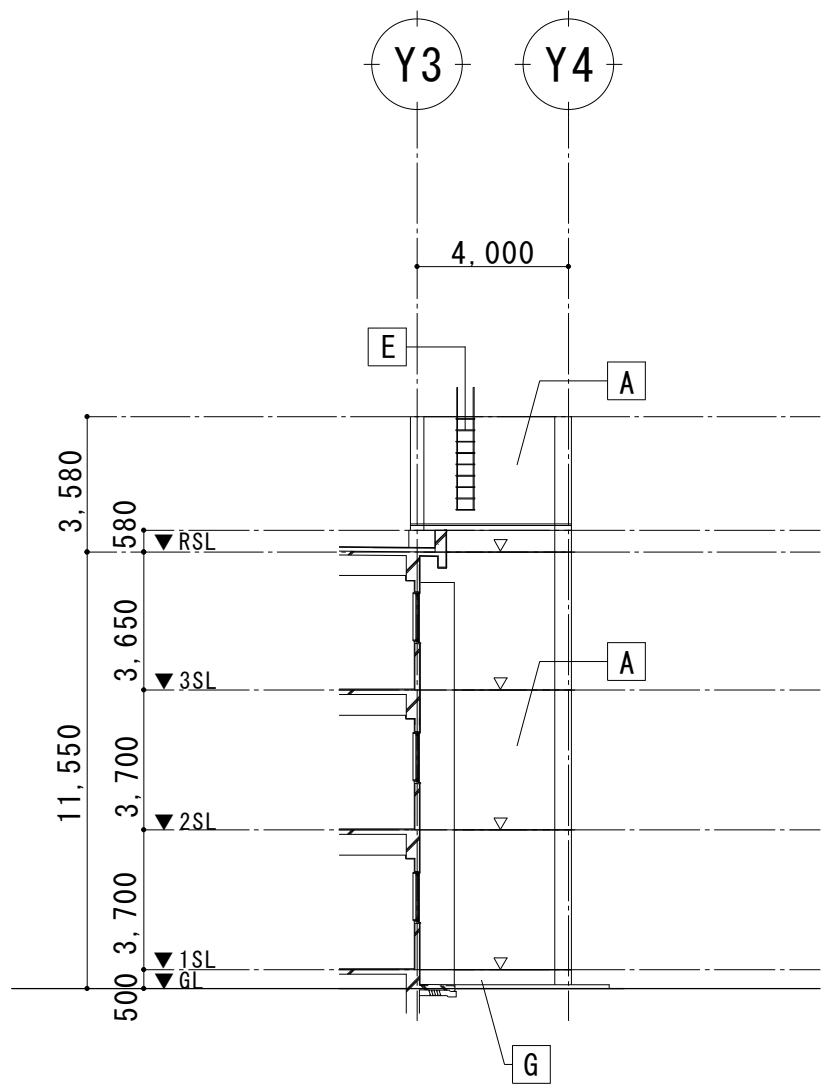
R8.02

図面名称

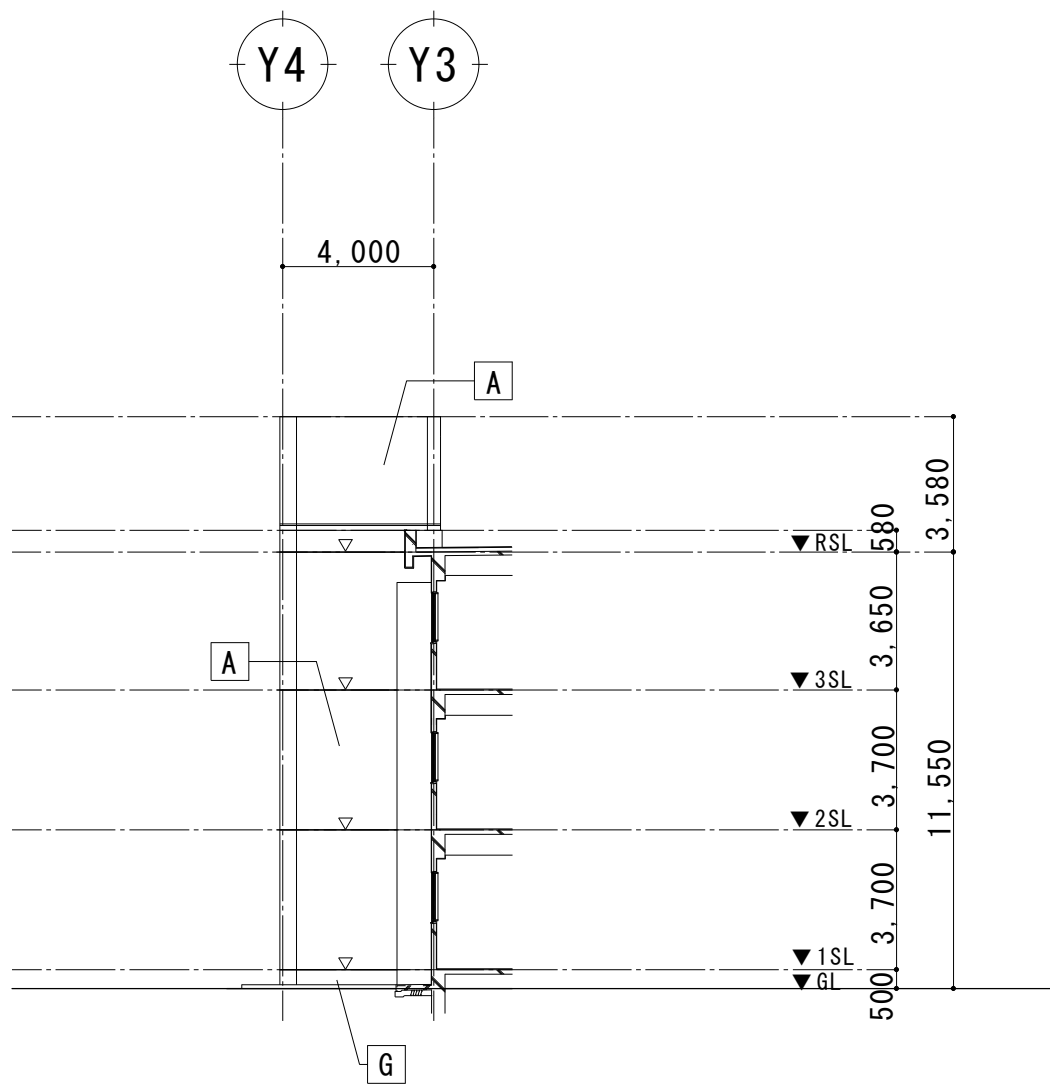
改修 立面図

図面番号

A-07



既存 X4通り東側立面図 S=1:200



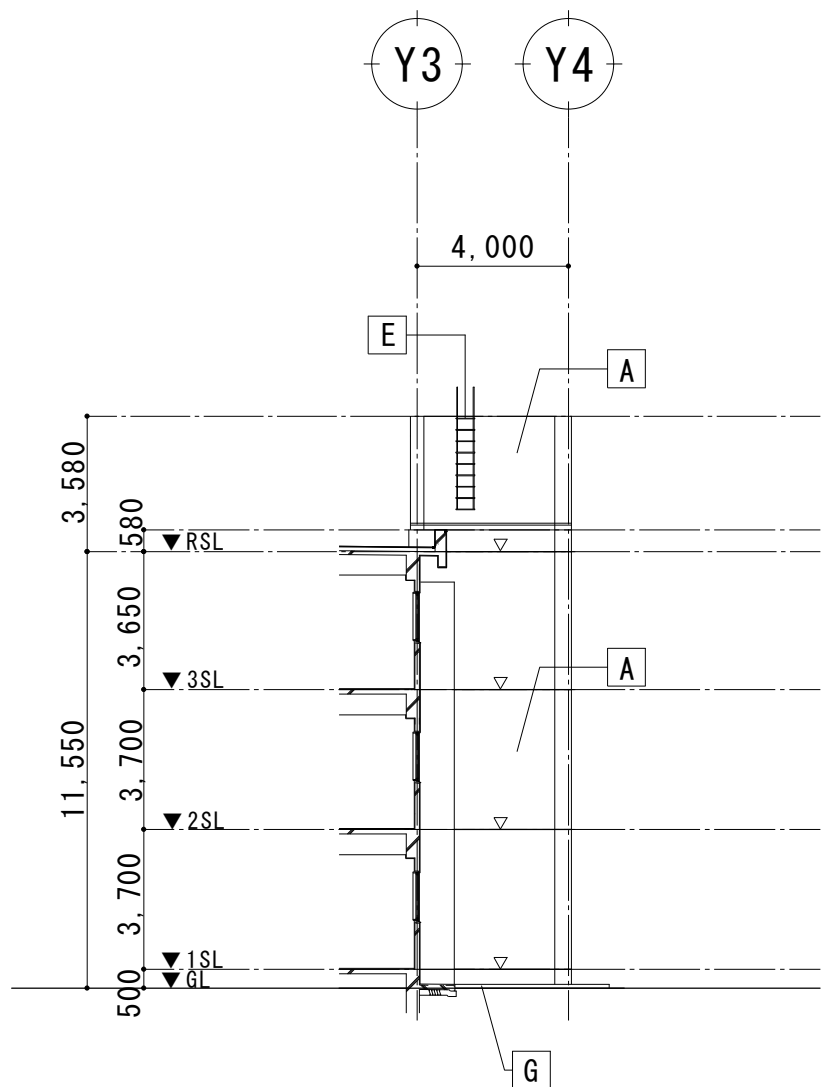
既存 X8通り西側立面図 S=1:200

凡例【既存】

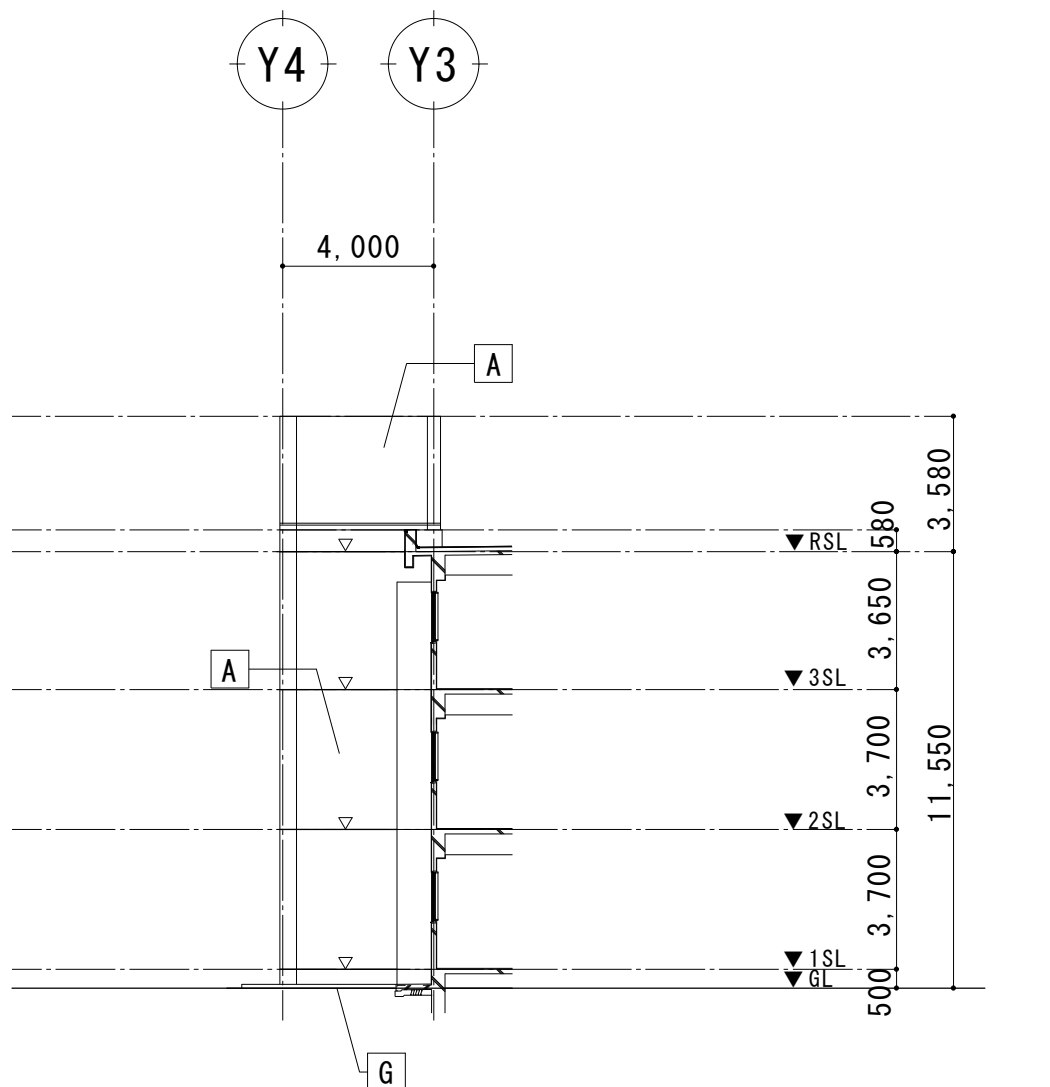
▽	打継目地：20×10	撤去
◁	縦目地：20×10	撤去

凡例【既存】

A	外壁：モルタル下地合成樹脂E系複層塗材ウレタンエマル（下地調整材：7スベット含有レベル3）	既存のまま
E	スチールタラップ：鉄部 OP塗	既存のまま
G	巾木：モルタル金ゴテ H=400	既存のまま



改修 X4通り東側立面図 S=1:200



改修 X8通り西側立面図 S=1:200

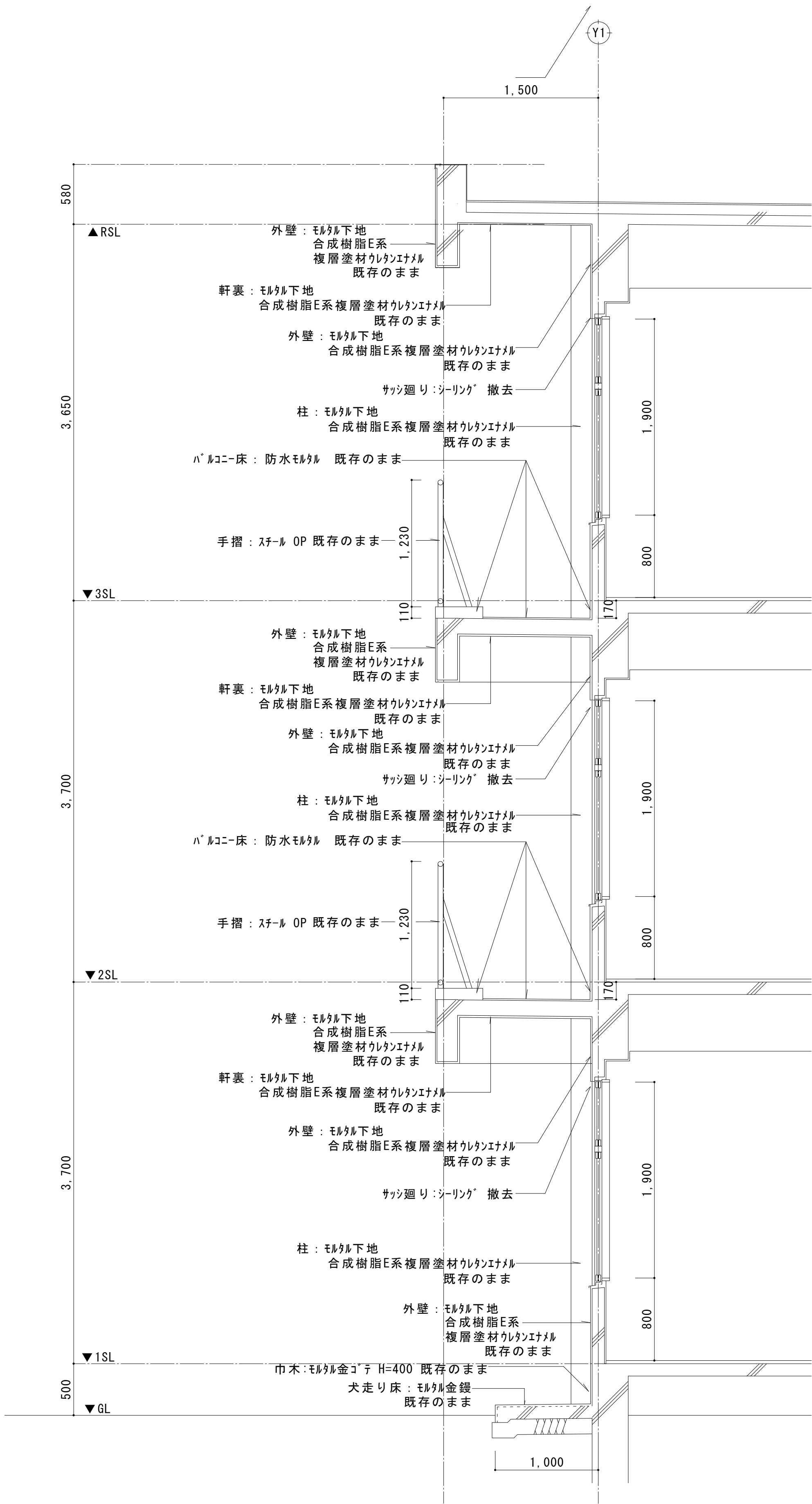
凡例【改修】

▽	打継目地：20×10 PU-2	新設
◁	縦目地：20×10 PU-2	新設

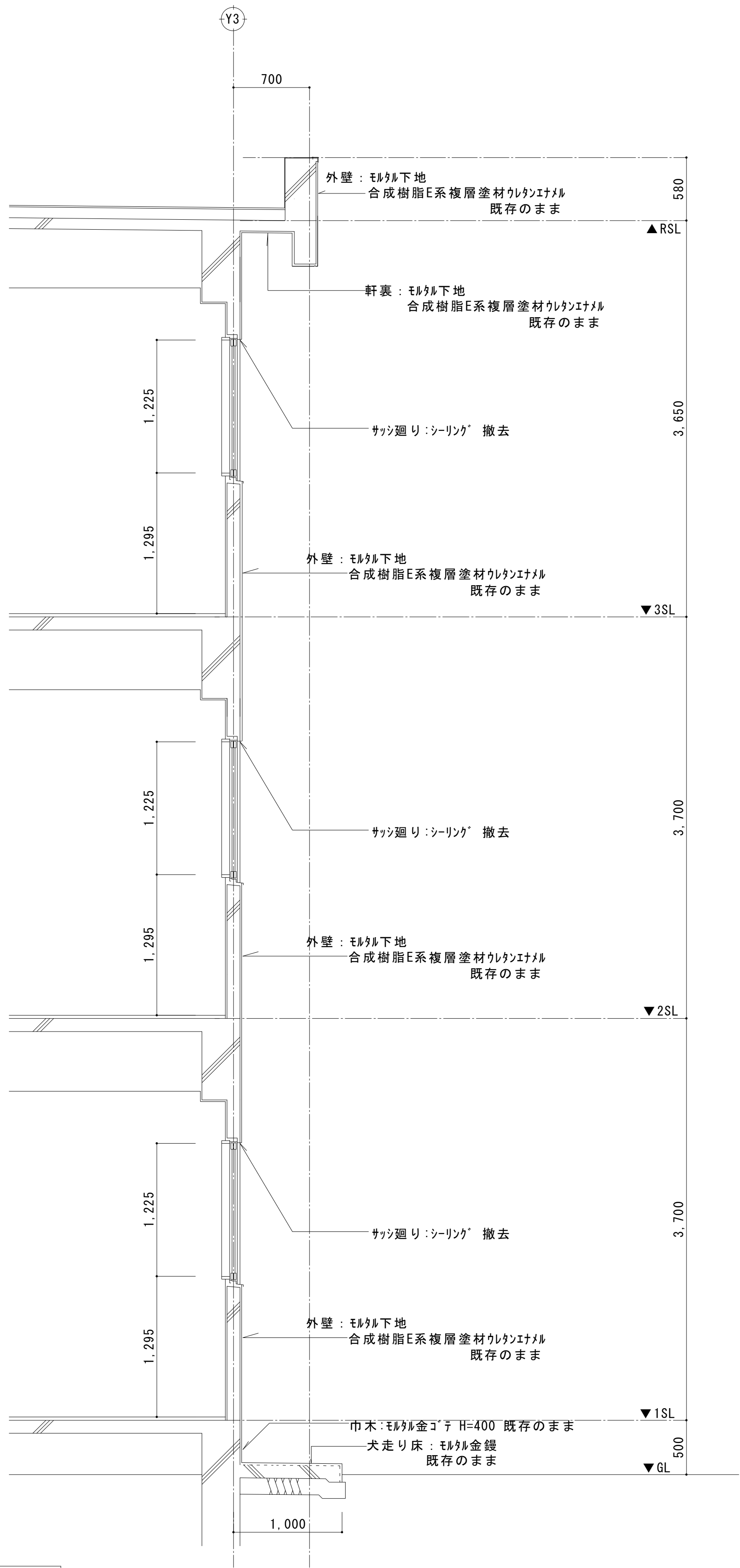
凡例【改修】

A	外壁：水洗い(15MPa)の上、防水形複層塗材E（下地調整材C-2）	新設
E	スチールタラップ：下地調整の上、DP塗装	新設
G	巾木：水洗い(15MPa)の上、フィラー補修（C-2）H=400	新設





既存 矩計図 S=1:30



原図サイズ A1



SAGAMIHARA

相模原市



工事名称

市立大沼小学校B棟外壁修繕

設計資格者氏名

一級建築士 大臣登録 第288653号  
学校施設課 大橋 乃介

課長

総括主幹

総括副主幹

総括副主幹

担当

検算

縮尺

S=1:30

設計年月日

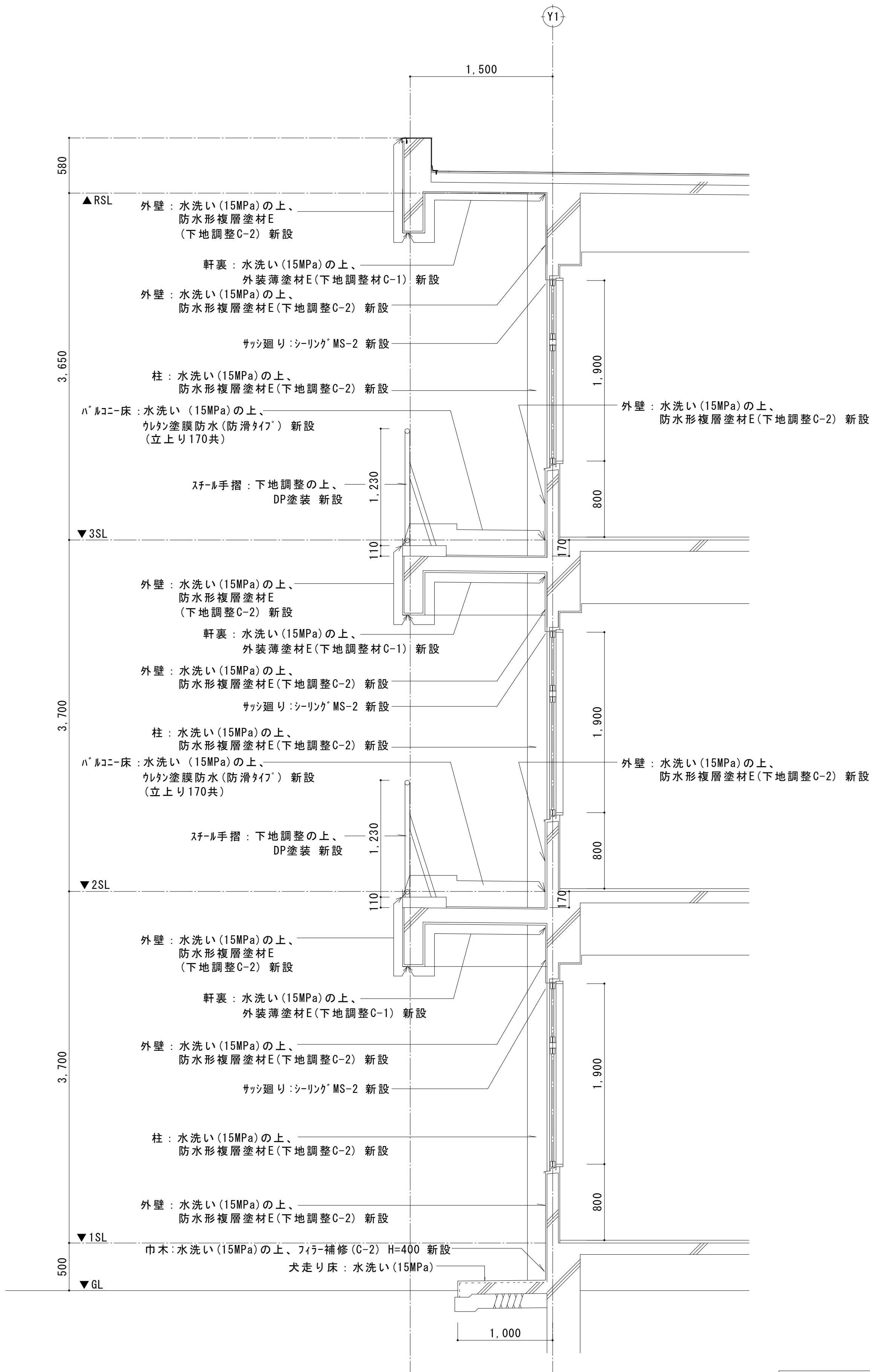
R8.02

図面名称

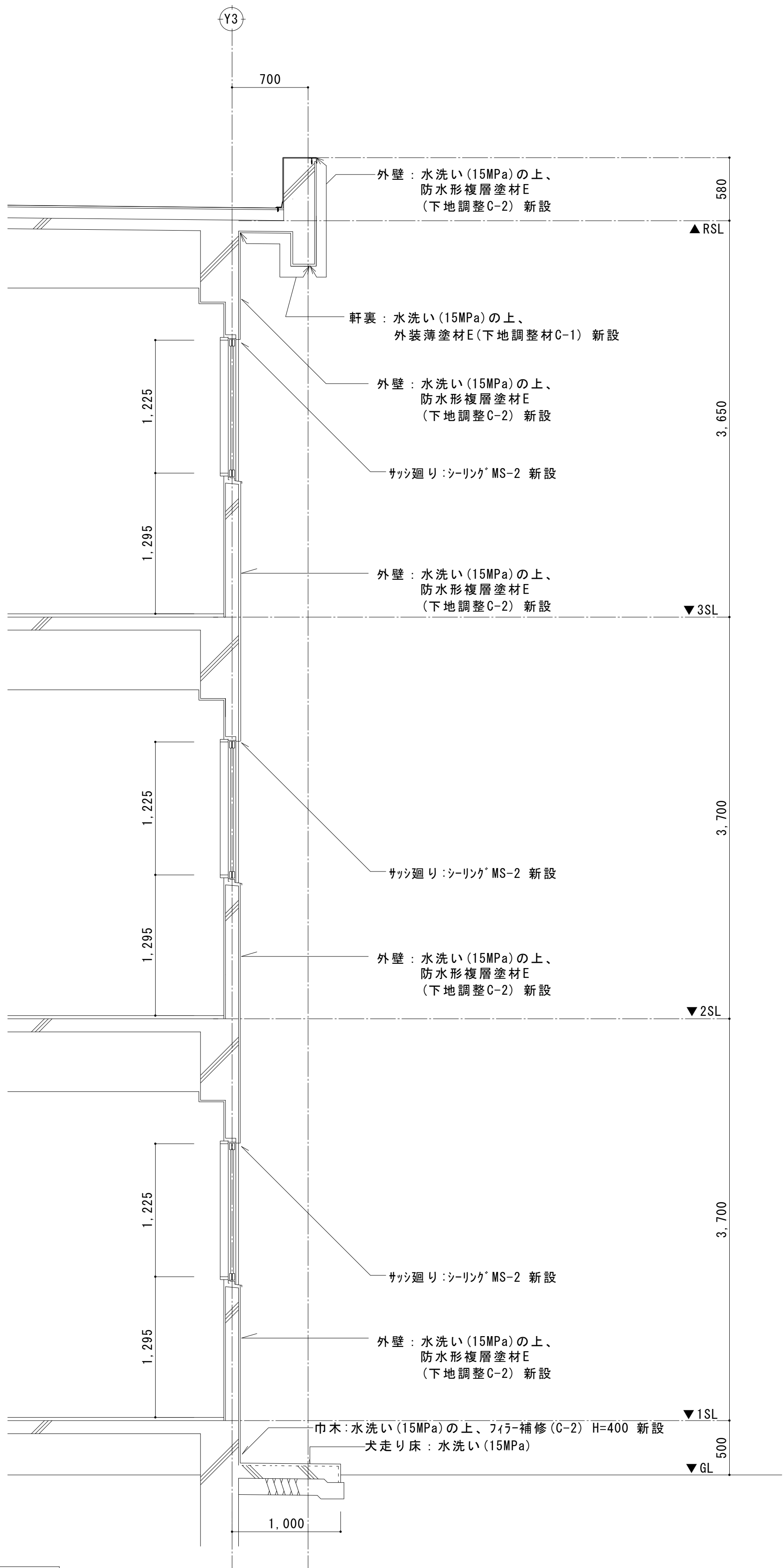
既存 矩計図

図面番号


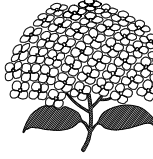
A-09



改修 矩計図 S=1:30

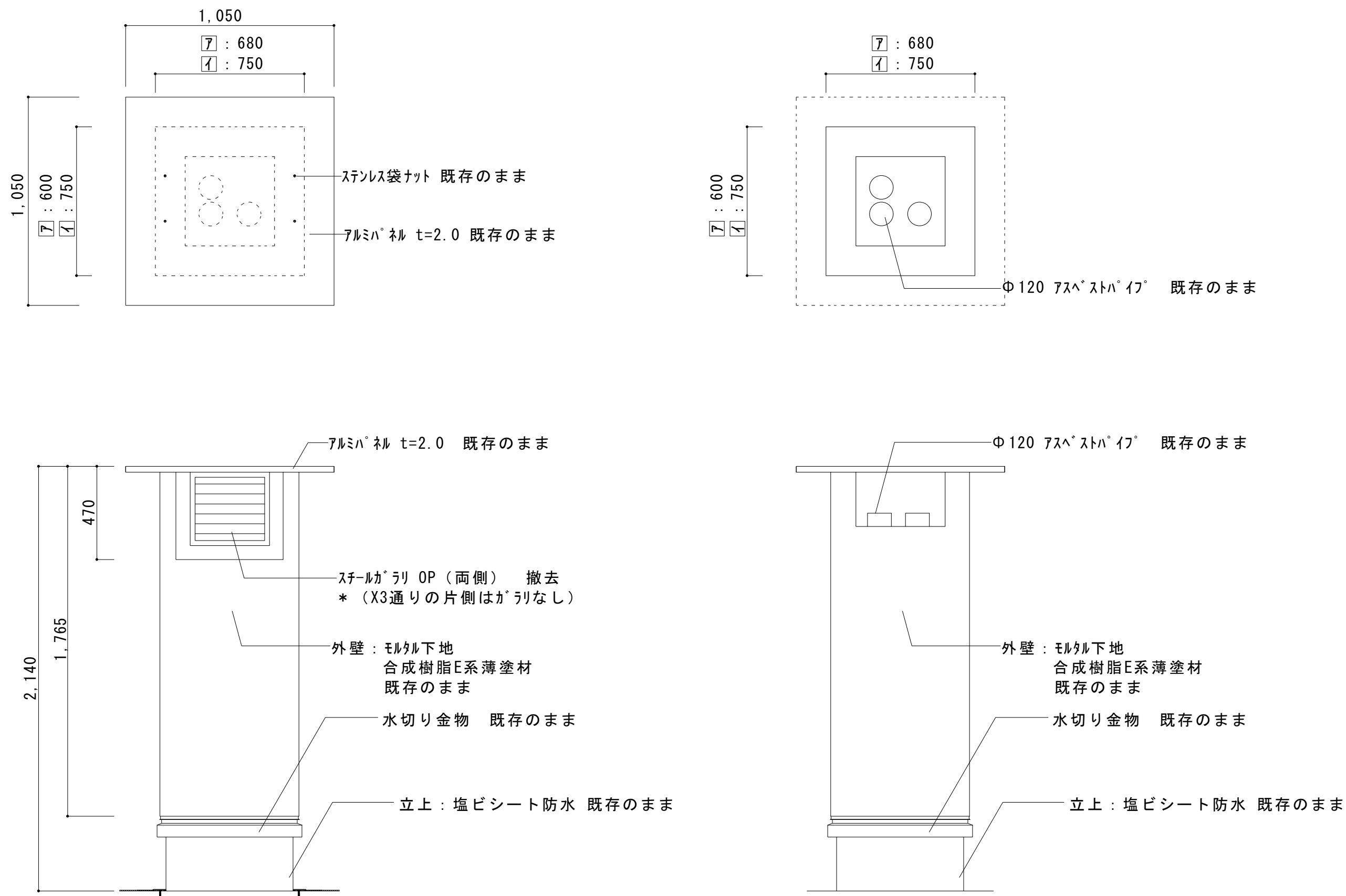


原図サイズ A1

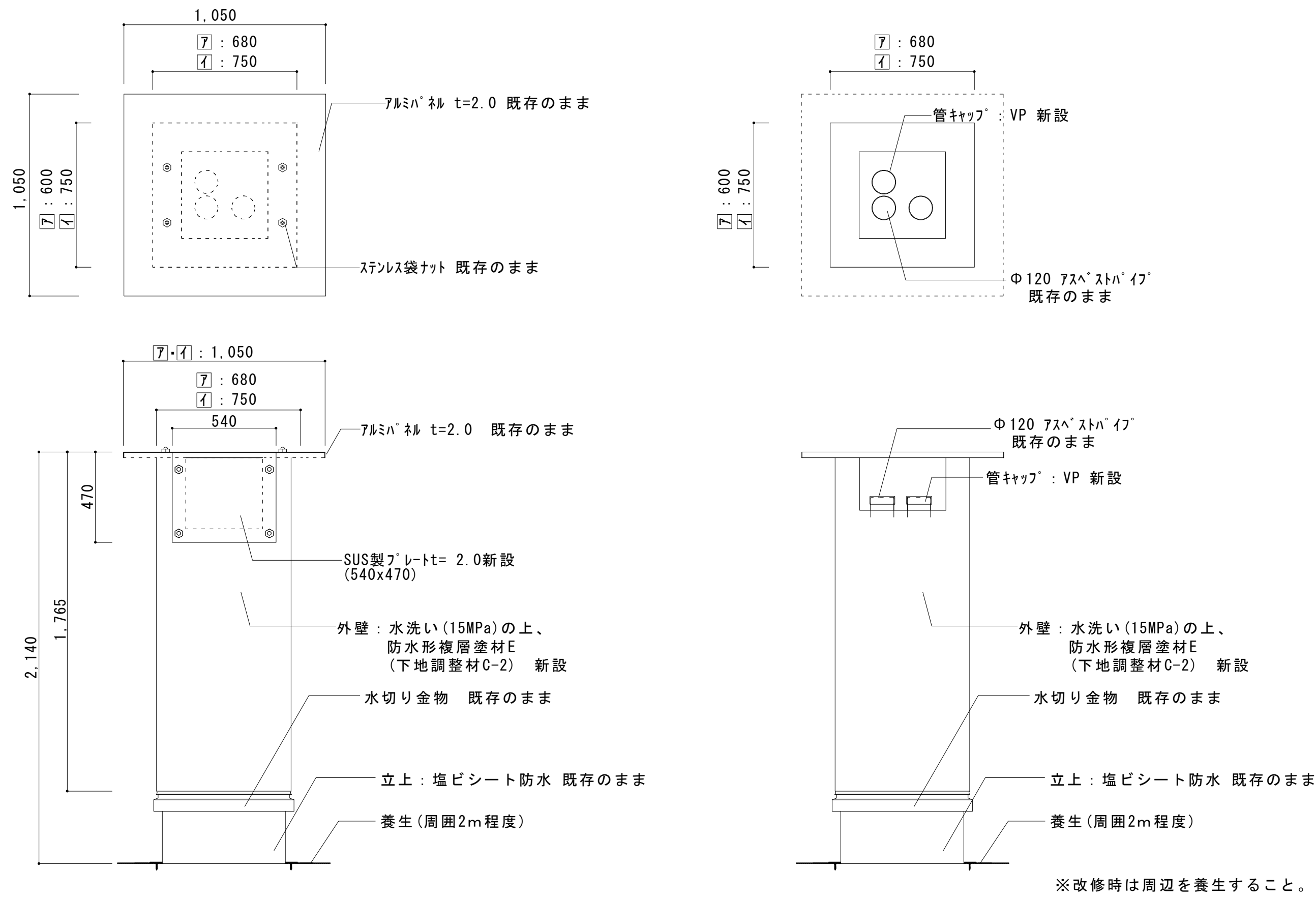
	<b>SAGAMIHARA</b> 相模原市		工事名称 市立大沼小学校B棟外壁修繕	設計資格者氏名 一級建築士 大臣登録 第288653号 学校施設課 大橋 乃介	課長	総括主幹	総括副主幹	総括副主幹	担当	検算	縮尺 S=1:30	図面名称 改修 矩計図	図面番号 A-10
											設計年月日 R8.02		


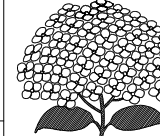


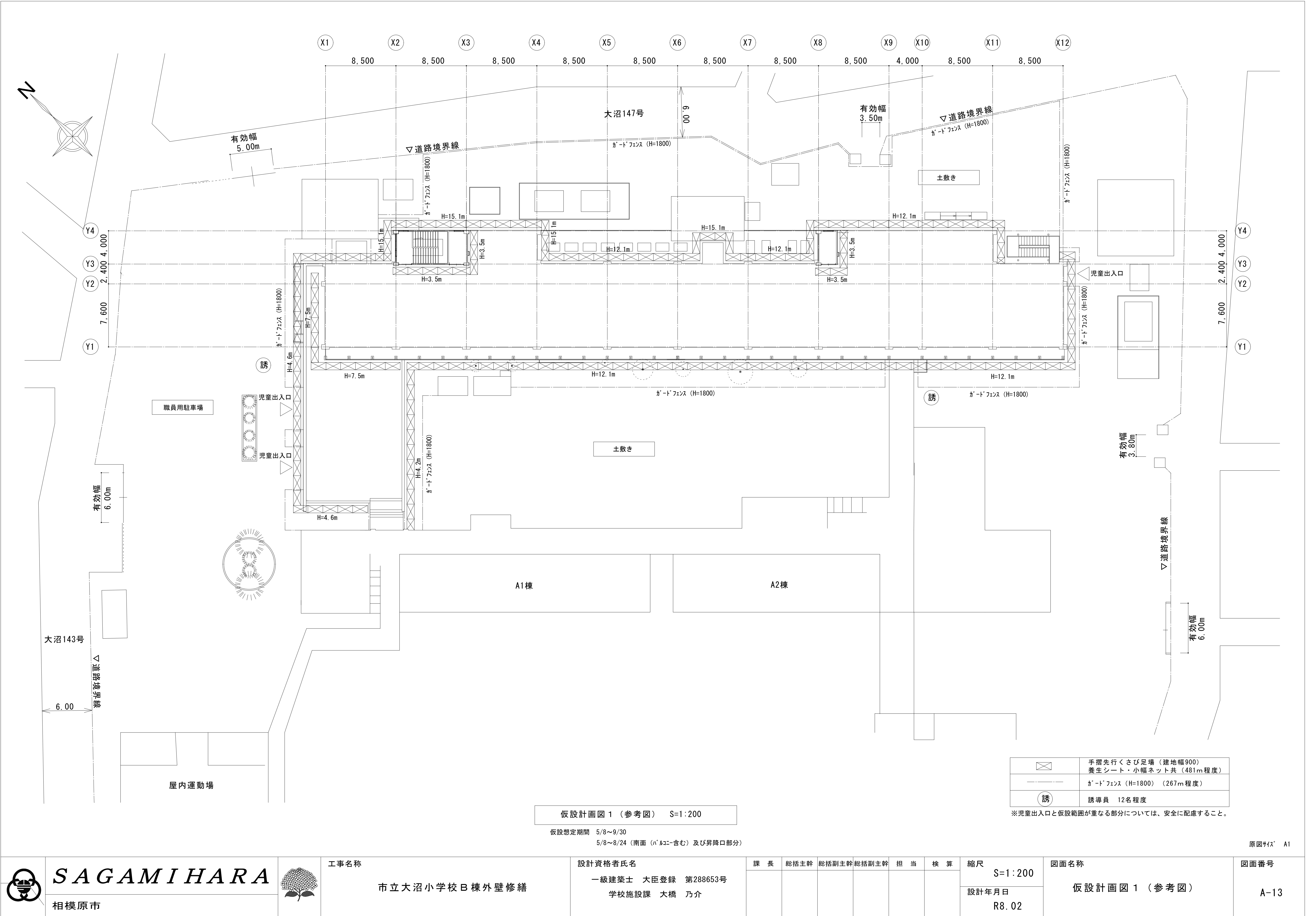
【 既 存 】



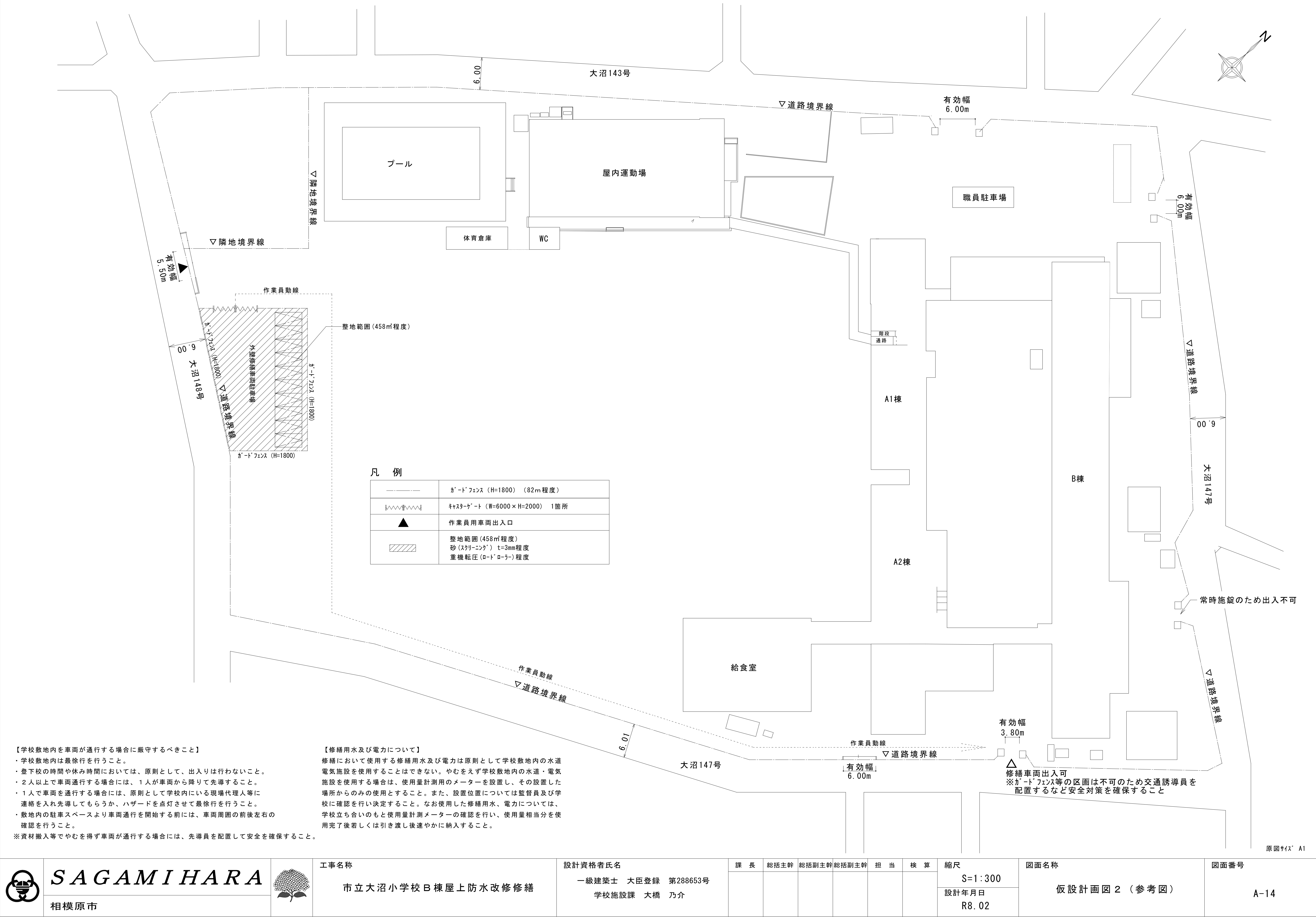
【 改 修 】


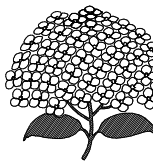


既存バルコニー手摺正面図 S=1:20					既存バルコニー手摺断面図 S=1:20									
既存 バルコニー手摺正面図 S=1:20														
改修バルコニー手摺正面図 S=1:20					改修バルコニー手摺断面図 S=1:20									
改修 バルコニー手摺正面図 S=1:20														
原図サイズ A 1														
	<b>SAGAMIHARA</b> 相模原市		工事名称 市立大沼小学校B棟外壁修繕	設計資格者氏名 一級建築士 大臣登録 第288653号 学校施設課 大橋 乃介	課 長	総括主幹	総括副主幹	総括副主幹	担 当	検 算	縮尺 S=1:20	図面名称 雑詳細図 2	図面番号 A-12	
											設計年月日 R8.02			







 <div>SAGAMIHARA 相模原市</div>		工事名称  市立大沼小学校B棟屋上防水改修修繕	設計資格者氏名 一級建築士 大臣登録 第288653号 学校施設課 大橋 乃介	課 長	総括主幹	総括副主幹	総括副主幹	担 当	検 算	縮尺 S=1:300 設計年月日 R8.02		図面名称  仮設計画図2（参考図）	図面番号  A-14